

中国・四国空中花粉研究会誌

Annual report of Chugoku-Shikoku Airborne pollen Society

香川県
自然記念物
二宮のネズ

第 29 号
2018年12月

もくじ

巻頭言（秋山貢佐）	p 1
論文	
木村裕子： 岡山県における 2018 年のヒノキ科（スギ属・ヒノキ属）花粉飛散状況	p 2
難波弘行，木村裕子，小山敏章，板野久実子，名部 誠： 岡山県における 2019 年の年間ヒノキ科花粉の予測数	p 8
柏木彩華，尾花英里香，内田真美，藤井 遼，柿原千紘，難波弘行： 愛媛県松山市における 2018 年の年間ヒノキ科花粉予測数と実測数の検討 —2019 年の年間ヒノキ科花粉数の予測—	p 14
桧垣義光，神野由美子： 2019 年のヒノキ科（スギ属・ヒノキ属）花粉飛散数の予測	p 22
平成 29 年度 中国・四国空中花粉研究会市民公開講座報告（小林英治）	p 27
市民講座	
田井達也： 鼻炎に使う薬について～正しく使うからクスリになる～	p 28
川島佳代子： 花粉症の時期を快適に過ごすために	p 31
新規入会者紹介	p 33
食べ歩き 第 9 回（藤木利之）	p 34
中国・四国空中花粉研究会会則	p 36
「中国・四国空中花粉研究会会誌」投稿規程	p 38
中国・四国空中花粉研究会 2018 年度～ 役員	p 39
資料の部（2018 年 1 月～ 5 月）	p 41



ネズの花芽と花粉（スケールは $10\mu\text{m}$ ）

巻頭言

香川大学医学部耳鼻咽喉科

秋山 貢佐

難波前代表から中国四国空中花粉研究会の後任の代表を仰せつかまつり、はや1年が経過しました。会員の皆様方にご尽力いただき、なんとか解散せずに会を存続させることができました。昨今は休眠NPO団体が社会問題となっており、世間の風当たりも強くなっておりますので疑われないように次年度も頑張ってお活動していきたいと考えております。

2018年の夏は全国的に記録的な猛暑であり、最高気温だけで見ると全国的に大量飛散だった今年度よりもまだ増えるという花粉予報の第一報が先日出ておりました。近年は地球温暖化、ゲリラ豪雨など気象条件もバリエーションが多く、花粉飛散予測も以前にもまして的中しにくくなってきているかと思えます。実際私も2018年度は平年並みと予想を出しておりましたが、蓋を開けてみると予想の倍以上の大量飛散であり、赤っ恥をかいたところでした。また地域によっては隣国への輸出のためか、スギ・ヒノキの伐採が盛んに行われているようでもあり、花粉予測に伐採の影響も考慮する必要が今後生じてくるかもしれません。しかし、今後もスギ・ヒノキ花粉は減少するとは考えにくい状況にあります。トランプは温暖化対策に興味がなく、脱原発で石炭による火力発電に逆戻りなど温暖化は続くと思われます。花粉ゼロを謳った緑のおばさんも失脚し存在感がゼロになりました。こうなっは沖縄から県外に基地が移設し、海兵隊員が大量に花粉症を発症し、米軍が枯葉剤をまいてくれることを期待するしかありません。デニーさん頑張れ。

話はかわりますが、今号は投稿が非常に充実しておりおそらく過去最高のページ数になったのではないかと思います。編集委員ならびに投稿していただきました先生方に感謝申し上げます。ご協力いただきました先生方に付度し、会誌の隅から隅まで、一言一句漏らさずにお読みいただき、ご感想などをいただければ幸いです（巻頭言は読み飛ばしていただいても結構です）。

岡山県における2018年のヒノキ科（スギ属・ヒノキ属）花粉飛散状況

木村裕子

岡山理科大学理学部

【はじめに】

岡山県の空中花粉測定は1988年に県内5ヶ所の観測から始まり、現在11ヶ所の観測施設が気象協会にデータ提供している¹⁾。特に吉備高原医療リハビリセンター（以下、吉備リハ）の観測結果は、岡山県のヒノキ科花粉数が年毎に増減を繰り返しながら増加する傾向を示し、ここ数年はプラトーな状況から減少傾向に転じているなど、年次推移を検討するための貴重なデータとなっている²⁾。また、ヒノキ科花粉飛散数と前年7月の最高気温平均値や7月の年次気温差との間に良い相関関係を示し、岡山県における翌年のヒノキ科花粉飛散数は、こやま薬局江崎店（以下、こやま薬局）および翌年のヒノキ科花粉飛散数の予測値は吉備リハの観測結果が用いられている²⁻⁴⁾。

このように長期にわたる観測データが貴重である一方で、地域ごとの飛散状況を把握することも重要であると考えられる。気象協会に提供された観測結果は、中国・四国空中花粉研究会誌の資料の部において観測施設毎に結果が記載させているが、このデータを地域ごとにまとめ、その飛散状況を把握するには多くの手間がかかる。そこで、今回は岡山県の観測結果を北部・中部・南部としてまとめ、その飛散状況を報告する。

【方法】

1) 花粉観測施設

気象協会にデータを提供して頂いた下記の施設のヒノキ科花粉飛散数を対象とした。

県北部

- ・エンジェル薬局：真庭市勝山
- ・なでしこ薬局：真庭市中

県中部

- ・吉備高原医療リハビリテーションセンター（以下、吉備リハ）：上房郡加賀町吉川字長坂
- ・赤磐市国民健康保険佐伯北診療所（以下、佐伯北診療所）：赤磐市塩木

県南部

- ・備前市立日生病院：備前市日生町寒河
- ・岡山大学医学部：岡山市北区鹿田町
- ・岡山理科大学：岡山市北区理大町
- ・こやま薬局江崎店：岡山市中区江崎（以下、こやま薬局）
- ・岡村一心堂病院：岡山市東区西大寺南
- ・岡山医学検査センター：倉敷市笹沖
- ・矢掛町国民健康保険病院（以下、矢掛町国保病院）：小田郡矢掛町矢掛

2) 気象条件

岡山県の花粉供給源は主に県北部であることから、津山気象測候所（津山市林田）におけるAmeDAS気象データのうち、2～4月の気温、降水量、風向を用いた^{5, 6)}。

3) 花粉捕集期間と観測方法

花粉の捕集には、ダーラム型花粉捕集器を使用し、2月1日から5月1日まで観測した資料を用いた。日本花粉学会で報告された観測方法に従い、ワセリンを薄く塗ったスライドグラスを捕集器にセットし、毎朝9:00から24時間自然落下した花粉をカルベルラ液で染色した後、またはゲンチアナバイオレット染色液で染色・封入した後、18×18mm内の花粉数を計測して1cm²あたりの花粉数とした^{7, 8)}。

【結果】

1) 花粉飛散数（図1）

2018年における県北部のスギ属・ヒノキ属花粉飛散数は、エンジェル薬局が約19,000個/cm²、なでしこ薬局が約20,000個/cm²であった。ヒノキ属花粉飛散数はエンジェル薬局が約13,000個/cm²、なでしこ薬局が約17,000個/cm²で、その割合は各々約75%と約85%を占めた。また、スギ属花粉飛散数はエンジェル薬局が約2,000個/cm²、なでしこ薬局が約2,800個/cm²となり、県中部のスギ属平均花粉飛散数と比較するとエンジェル薬局が約3.5倍、なでしこ薬局が約5倍、県南部のスギ属平均花粉飛散数と比較するとエンジェル薬局が約2倍、なでしこ薬局が約2.5倍であった。

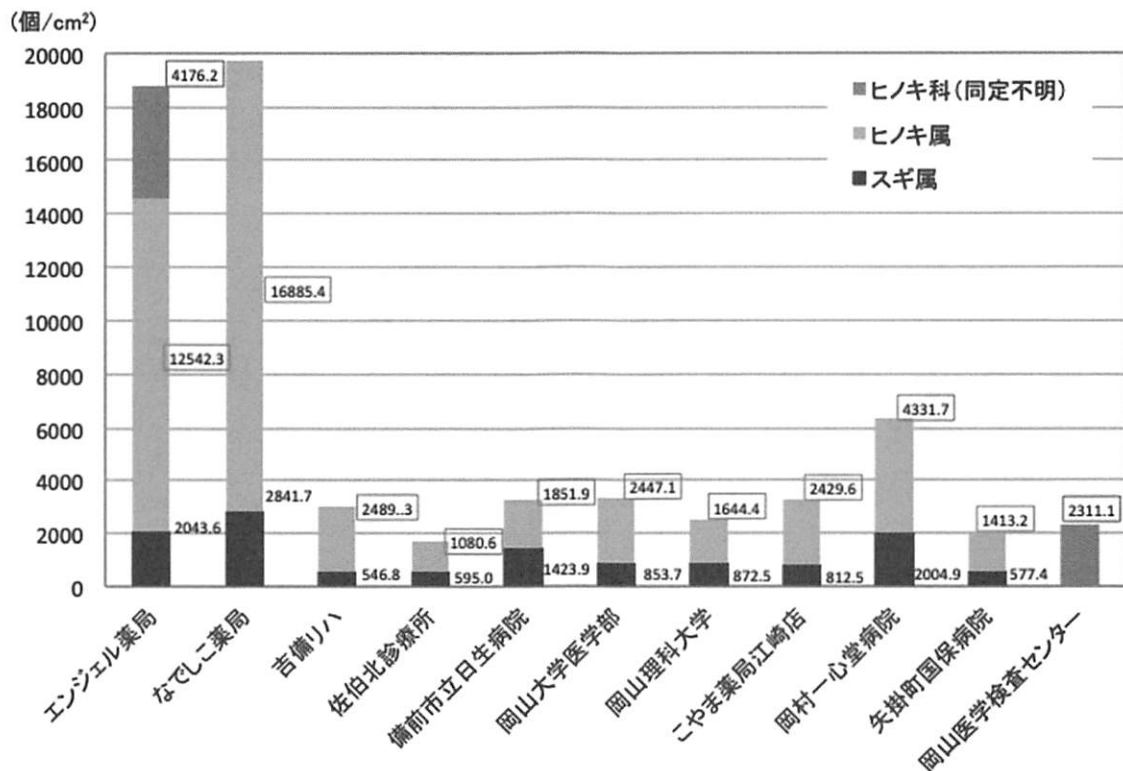


図1. 2018年岡山県のスギ属・ヒノキ属花粉飛散数

県中部のスギ属・ヒノキ属花粉飛散数は吉備リハが約3,000個/cm²、佐伯北診療所が約1,700個/cm²であり、佐伯北診療所の花粉飛散数は県内で最も少ない値であった。また、吉備リハのヒノキ属花粉飛散数の割合はスギ属・ヒノキ属花粉飛散数の約85%を占めた。

県南部のスギ属・ヒノキ属花粉飛散数は岡村一心堂病院が約6,300個/cm²であり、県南部では最も多く飛散した。その他の岡山市および備前市内の観測施設のスギ属・ヒノキ属花粉飛散数は約2,500～3,300個/cm²であった。また、矢掛町国保病院では約2,000個/cm²であった。それぞれの観測施設でのヒノキ属花粉飛散数の割合はスギ属・ヒノキ属花粉飛散数の約65～85%を占めた。

2) 花粉飛散日

県北部では、スギ属花粉が3月2日から徐々に増加し始め、3月中旬と3月下旬～4月上旬にかけて大量飛散した(図2)。ヒノキ属花粉は3月下旬～4月上旬にかけて大量飛散したが、その後はほとんど観測されなかった(図3)。

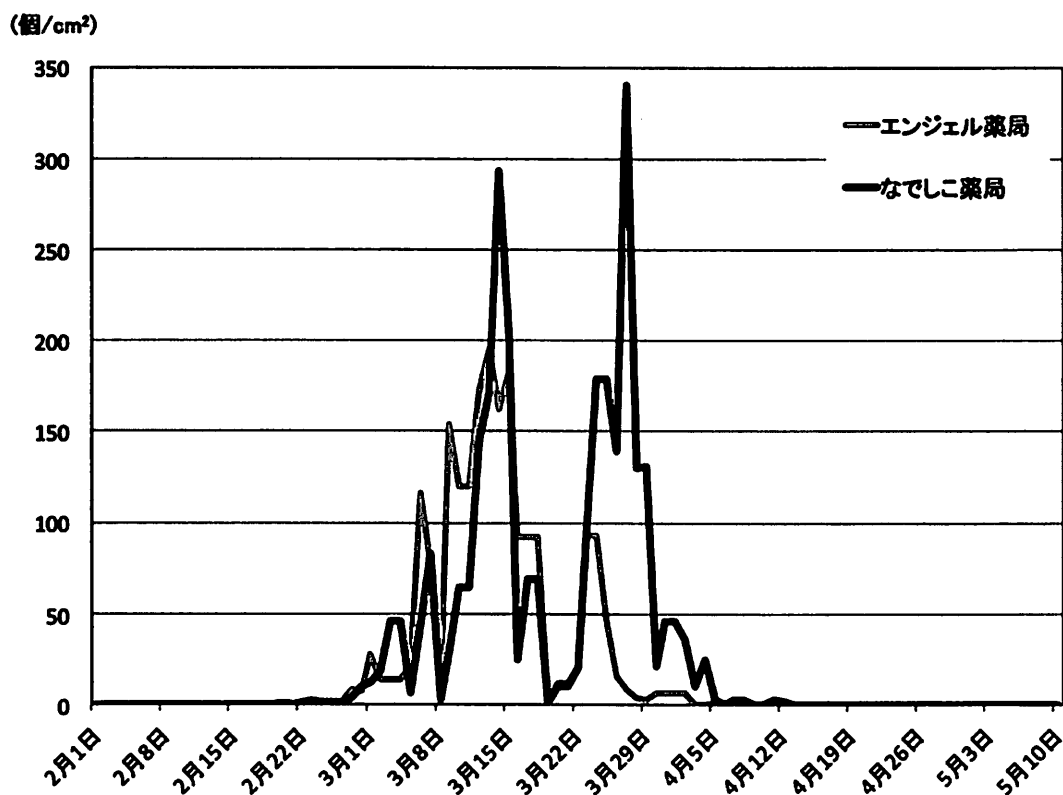


図2. 2018年岡山県北部のスギ属花粉飛散数

県中部では、吉備リハにおけるスギ属花粉が3月上旬と下旬に大量に飛散した(図4)。佐伯北診療所でのスギ属花粉数は3月6日に多量飛散し、その後上旬から中旬にかけて大量飛散が認められた。ヒノキ属花粉は3月下旬～4月上旬に集中して大量飛散が認められ、その後はほとんど観測されなかった(図3)。

県南部では、岡山理科大学におけるスギ属花粉が2月上旬から飛散を開始しており、3月からはほぼ全ての観測施設でスギ属花粉が日々増減を繰り返しながら飛散していた(図5)。

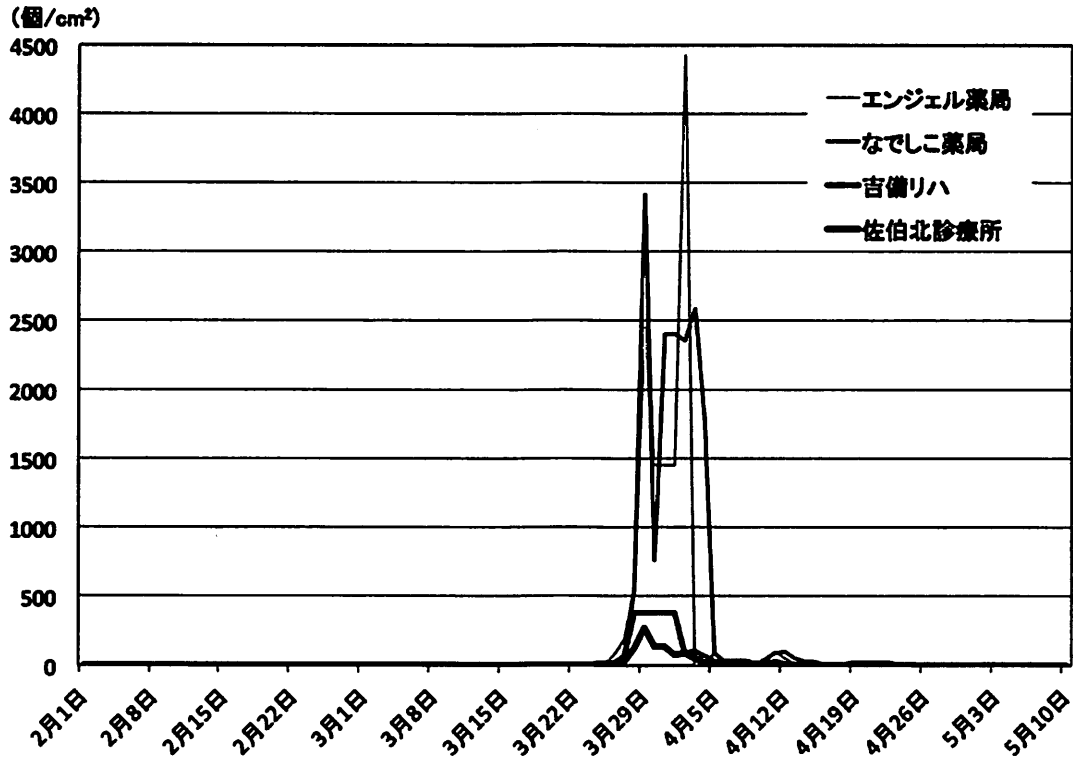


図 3. 2018年岡山県北部・中部のヒノキ属花粉飛散数

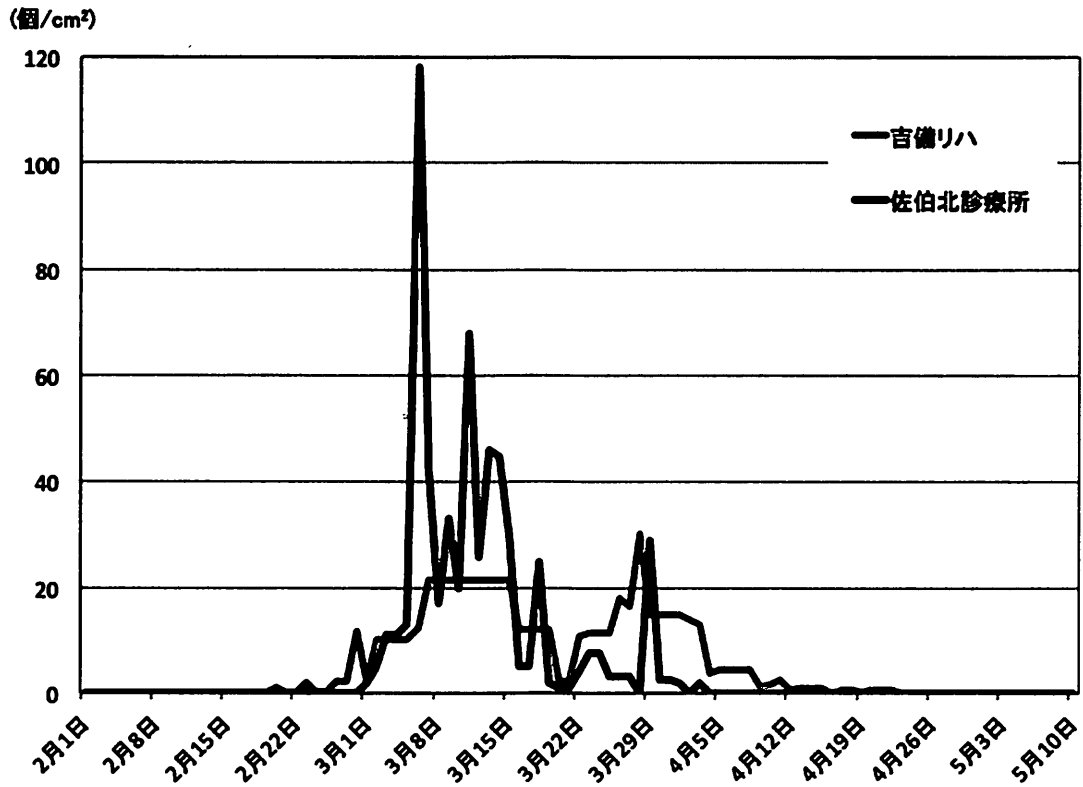


図 4. 2018年岡山県中部のスギ属花粉飛散数

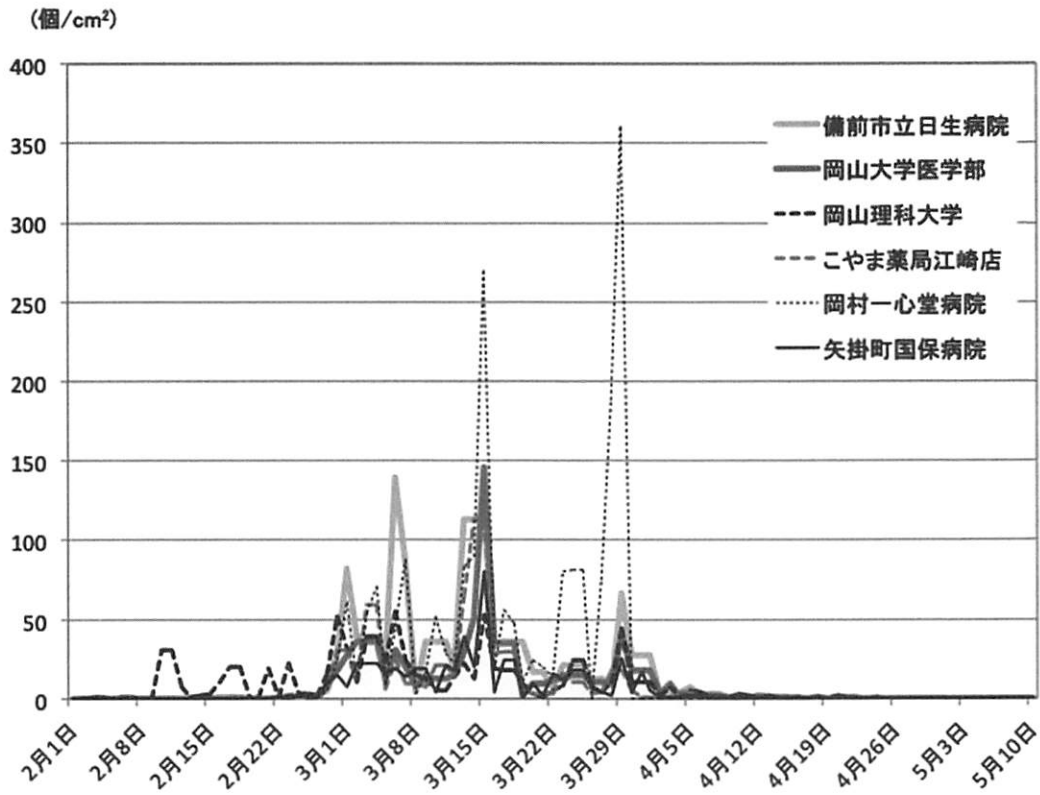


図 5. 2018年岡山県南部のスギ属花粉飛散数

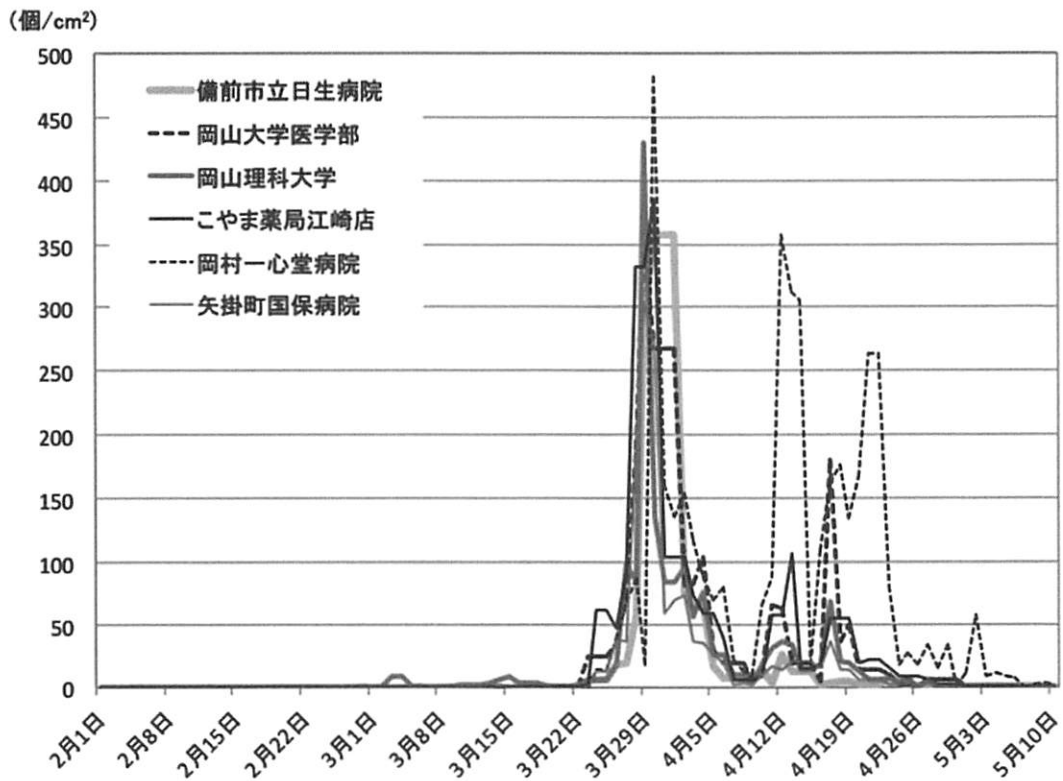


図 6. 2018年岡山県南部のヒノキ属花粉飛散数

一方、岡村一心堂病院においては、3月15日と29日にスギ属花粉の大量飛散が観測された。ヒノキ属花粉は3月下旬から観測され始め、27日から1週間の間に全ての観測施設で大量飛散が認められた。4月11～23日にかけて再びヒノキ属花粉が多く飛散する日が確認された(図6)。

スギ属・ヒノキ属花粉の大量飛散時期の津山市観測所の気象データを見ると、2月28日から2日間続いた降雨の後に、気温が急激に上昇しており、この気温の変化がスギ属花粉の大量飛散の要因であると考えられる。3月10～14日は天候も穏やかで、日中の気温が20℃を超える日が3日も続いたことにより、スギ属花粉が飛散しやすかったと考えられる。3月19日からは降雨とともに一旦気温も低下したが、再び25日から日中の気温が20℃を超えた日が続いたことから、スギ属・ヒノキ属花粉が大量に飛散し、さらに29日には北西の風に乗って県北部から南部まで運ばれ、県全体でスギ属・ヒノキ属花粉が観測されたと考えられる。

一方、県北部・中部では4月5日以降にスギ属・ヒノキ属花粉が観測されなかったことから、県中部・南部における4月中旬以降のヒノキ属花粉の飛散は県北部から供給された花粉ではなく、近隣地域や他県から供給された可能性が示唆された。

【謝辞】

貴重な資料を提供して頂いたエンジェル薬局、なでしこ薬局、吉備リハ、佐伯北診療所、備前市立日生病院、岡山大学医学部、岡山理科大学、こやま薬局、岡村一心堂病院、岡山医学検査センター、矢掛町国保病院の皆様に深謝いたします。

【引用文献】

- 1) 三好教夫：発刊にあたって．備讃空中花粉研究会誌，1，1－2（1990）．
- 2) 難波弘行・渡辺浩文・小山敏章・板野久実子・名部 誠：岡山県におけるヒノキ科花粉の予測数について．中国四国空中花粉研究会誌，27，2－7（2016）．
- 3) 難波弘行・坪井 昭・香川伸二・三好教夫：スギ科・ヒノキ科空中花粉の予測式について．備讃空中花粉研究会誌，5，28－31（1994）．
- 4) 難波弘行・渡辺浩文・小山敏章・板野久実子・名部 誠：岡山県におけるヒノキ科花粉の飛散状況と今後の予測．中国四国空中花粉研究会誌，26，30－38（2015）．
- 5) 難波弘行・齋藤勝剛・佐橋紀男：岡山県におけるスギ・ヒノキ科花粉の供給地域と飛散動態の推定．アレルギー，48，1337－1347（1999）．
- 6) 気象庁．気象観測（電子閲覧室）．www.data.jma.jp/obd/stats/etrn/index.php
- 7) 佐橋紀男・岸川禮子・西間三哲・長野 準：日本における空中花粉測定および花粉情報の標準化に関する研究報告．花粉誌，39，129－134（1993）．
- 8) 片岡裕子：付録．三好教夫他著，岡山の花粉尘，149－153（2003）．

岡山県における2019年の年間ヒノキ科花粉の予測数

難波弘行¹⁾，木村裕子²⁾，小山敏章³⁾，板野久実子⁴⁾，名部 誠⁵⁾

¹⁾ 松山大学薬学部，²⁾ 岡山理科大学，³⁾ こやま薬局，

⁴⁾ 吉備高原医療リハビリテーションセンター，⁵⁾ 矢掛町国民健康保険病院

【はじめに】

現在までに、花粉症の原因となる花粉の種類が61種類にのぼる事が報告されている¹⁾。その中で有名なスギ花粉症の有病率は、1998年の16.2%から2008年の26.5%へと増加しており、今後さらにスギ花粉症の患者が増加する事が懸念されている²⁾。そのため、年間ヒノキ科花粉数を予測し情報提供する事は、予防医学の観点からも重要と考えられる。

岡山県中部（吉備高原医療リハビリテーションセンター，以下吉備リハ）と南部（こやま薬局）の2観測施設の年間ヒノキ科花粉数は、津山気象観測所の前年7月最高気温平均値，並びに7月の年次気温差（昨年7月最高気温平均値－昨年7月最高気温平均値）との間にそれぞれ良い相関関係が認められる事から，これらの気象条件を用いて翌年の年間ヒノキ科花粉数の予測を行っている³⁻⁶⁾。また，年間ヒノキ科花粉数を経年的に観察する事で，年次推移に関しても検討を加えている。

今まで，年毎に増減を繰り返しながら増加傾向にあるとしていたが，ここ数年間に渡りヒノキ科花粉の飛散数が吉備リハにおいてはプラトーな状況から減少傾向に転じている事を示す結果が得られている⁶⁾。また，こやま薬局に関しては，年間ヒノキ科花粉数がプラトーな状況が継続している。今回我々は，2018年の年間ヒノキ科花粉数に関する予測数と実測数とについて検討すると共に，2019年の年間ヒノキ科花粉数の予測数についても検討したので報告する。

【方法】

1) 花粉観測施設

岡山県内の中部，南部における2花粉観測施設のヒノキ科花粉数を対象とした。

① 山県中部

- ・ 吉備高原医療リハビリテーションセンター（以下，吉備リハ）：上房郡賀陽町吉川字長坂（1991年～2018年）

② 岡山県南部

- ・ こやま薬局江崎店（以下，こやま薬局）：岡山市中区江崎（1999年～2018年）

2) 花粉捕集期間と観測方法

ヒノキ科花粉の捕集期間は，2月1日から5月10日までとした。花粉の捕集にはダーラム型花粉捕集器を用いた⁷⁾。日本花粉学会で報告された方法に従い，ワセリンを薄く塗布したスライドガラスを捕集器に設置し，毎朝9：00から24時間自然落下した花粉をカルベルラ液で染色した後，18×18mm内の花粉数を観測して1cm²あたりの花粉数とした⁸⁾。

3) 2018年のヒノキ科花粉予測数と実測数の検討

年間ヒノキ科花粉を観測した2施設（吉備リハ，こやま薬局）において，2018年のヒノキ科花粉予測数と実測数について検討した。

4) 2019年のヒノキ科花粉数の予測

2019年のヒノキ科花粉の予測には，吉備リハにおいては1991年から2018年までの28年間のヒノキ科花粉数，こやま薬局においては1999年から2018年までの20年間のヒノキ科花粉数とアメダス気象データ⁹⁾（津山：7月の最高気温平均値と7月の年次気温差）との間の相関関係について検討し，相関関係の認められた気象条件を用いた．統計処理には解析ソフトJMP11にて回帰分析を行い， $p < 0.05$ を有意差有りとした。

【結果】

1) 2018年のヒノキ科花粉予測数と実測数の検討

岡山県内2花粉観測施設における2018年のヒノキ科花粉予測数と実測数との比較，さらに過去28年間（こやま薬局：20年間）のヒノキ科花粉平均値を示す（表1）．2018年における吉備リハのヒノキ科花粉実測数は，予測数である3,694個/cm²（以下，/cm²省略）の約82.2%となる3,036個であった．また，過去28年間のヒノキ科花粉平均値である2,535個の約1.20倍であった．吉備リハにおける年間スギ花粉数と年間ヒノキ花粉数の検討では，スギ花粉とヒノキ花粉の識別を始めた1999年以降の20年間のヒノキ花粉の平均値が1,765個であるのに対し，スギ花粉の平均値が1,005個でありヒノキ花粉が約1.76倍多く飛散していた。

表1．岡山県2施設における年間ヒノキ科花粉飛散数と前年7月最高気温平均値との関係，並びに7月の年次気温差との関係．2019年のヒノキ科花粉飛散予測数

施設名		県中部		県南部	
		吉備高原リハ		こやま薬局	
ヒノキ科花粉平均値(個/cm ²)		2,535(1991～2018年)		2,325(1999～2018年)	
2018年ヒノキ科花粉飛散予測数(個/cm ²)		3,694		2,711	
2018年ヒノキ科花粉飛散実測数(個/cm ²)		3,036		3,242	
2019年ヒノキ科花粉飛散予測数(個/cm ²)		3,800～5,900		2,800～3,700	
7月の最高気温平均値	ヒノキ科花粉数	n	28	20	
		r ²	0.383189	0.31434	
		p	0.0004	0.0101	
7月の年次気温差	ヒノキ科花粉数	n	28	20	
		r ²	0.382141	0.272451	
		p	0.0005	0.0182	

一方、こやま薬局におけるヒノキ科花粉実測数は、予測数である2,711個の約1.20倍である3,242個であった。過去20年間のヒノキ科花粉平均値である2,325個の約1.39倍であった。こやま薬局では、20年間のスギ花粉の平均値が1,202個に対し、ヒノキ花粉が1,123個でありスギ花粉が1.07倍とほぼ同数であった。

2) 2019年のヒノキ科花粉予測数

i) 吉備リハ（岡山県中部）における2019年ヒノキ科花粉予測数

1991年から2018年の吉備リハにおける年間ヒノキ科花粉数と前年7月最高気温平均値の間には最も良い相関関係が認められた（表1，図1）。また，年間ヒノキ科花粉数と7月の年次気温差との間にも良い相関関係が認められた（表1）。

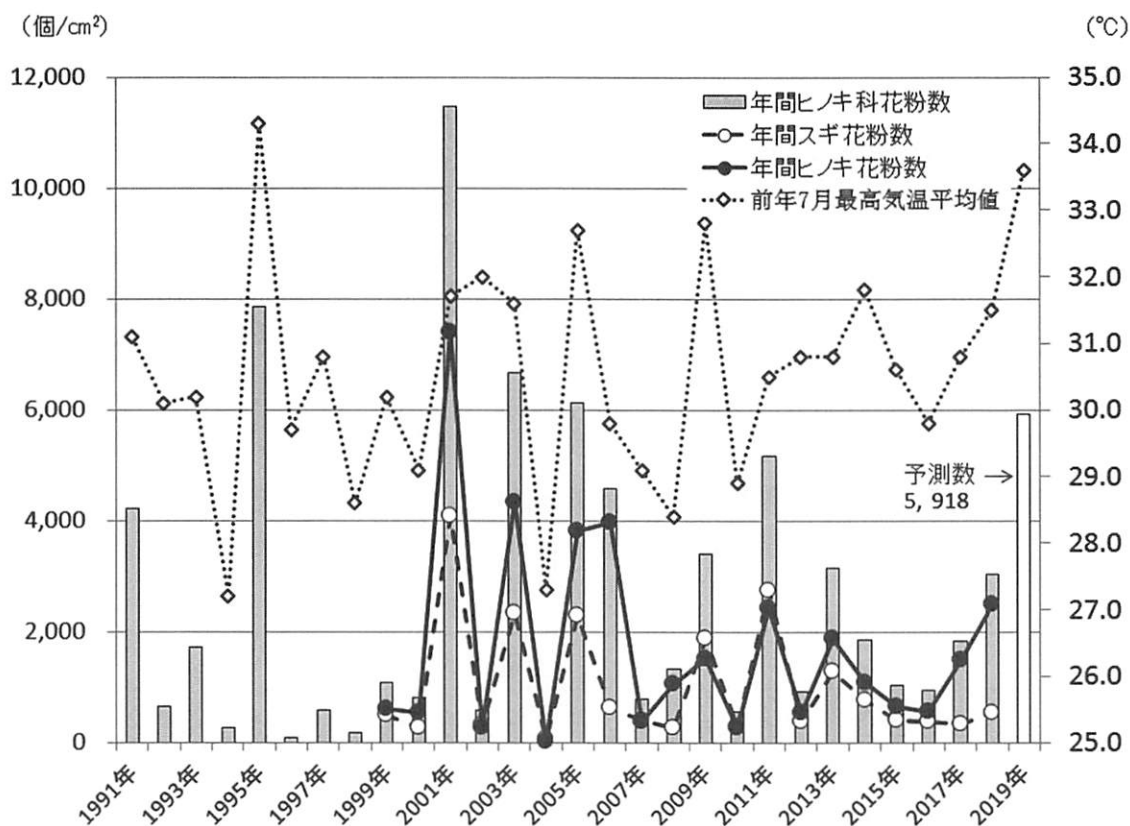


図1. 岡山県中部（吉備リハ）における年間ヒノキ科花粉数の推移

年間ヒノキ科花粉数と最も良い相関関係が認められた前年7月最高気温平均値から回帰式を求め、2018年の7月の最高気温平均値（33.6°C）を用いて2019年のヒノキ科花粉数を予測した。2019年のヒノキ科花粉の予測数は、5,918個であった。

$$Y = 1,069X - 30,000 \quad (r^2 = 0.383189, \quad p = 0.0004, \quad n = 28)$$

$$Y = \text{ヒノキ科花粉予測数}, \quad X = \text{前年7月最高気温平均値}$$

2019年のヒノキ科花粉予測数：5,918個

7月の年次気温差から回帰式を求め、年次気温差（2.1℃）を用いて2019年のヒノキ科花粉数を予測した。2019年のヒノキ科花粉の予測数は、3,850個であった。

$$Y = 637X + 2,510 \quad (r^2 = 0.382141, \quad p = 0.0005, \quad n = 28)$$

Y = ヒノキ科花粉予測数, X = 7月の年次気温差

2019年のヒノキ科花粉予測数 : 3,850個

ii) こやま薬局（岡山県南部）における2019年ヒノキ科花粉予測数

1997年から2018年の年間ヒノキ科花粉数と前年7月最高気温平均値の間には、最も良い相関関係が認められた（表1，図2）。また、年間ヒノキ科花粉数と7月の年次気温差との間にも良い相関関係が認められた（表1）。

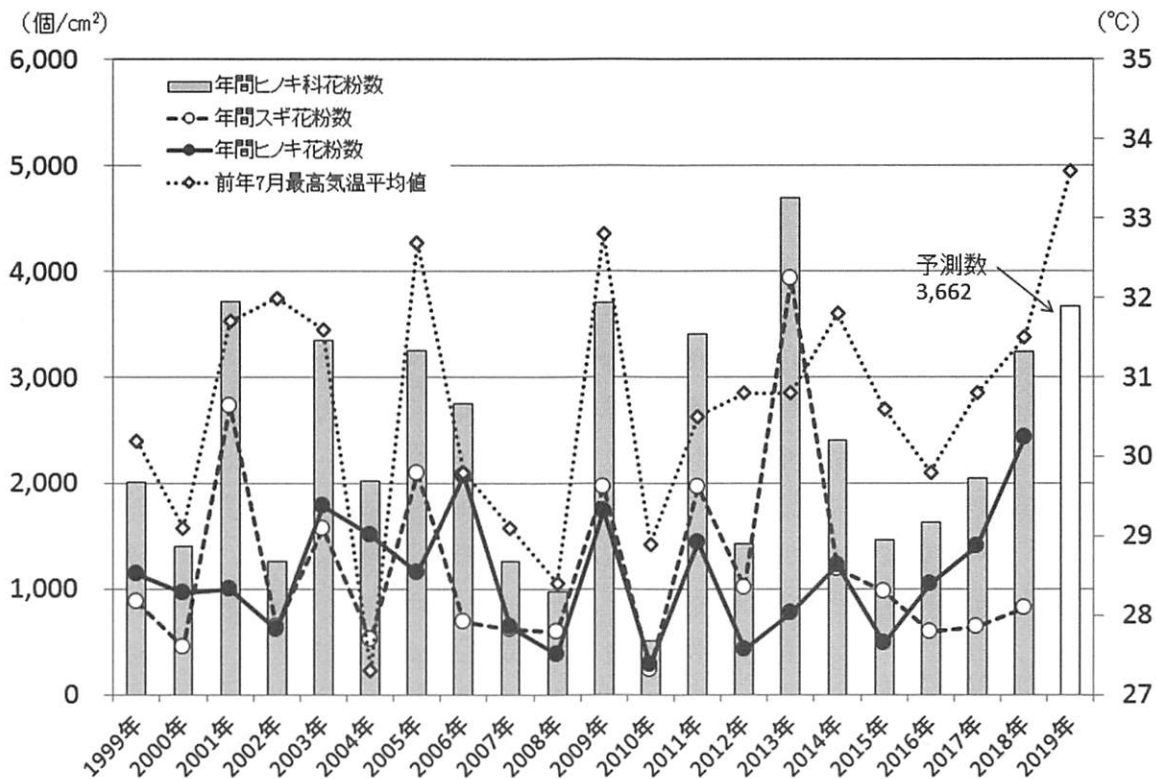


図2. 岡山県南部（こやま薬局）における年間ヒノキ科花粉数の推移

年間ヒノキ科花粉数と最も良い相関関係が認められた前年7月の最高気温平均値から回帰式を求め、2018年7月の最高気温平均値（33.6℃）を用いて2019年のヒノキ科花粉数を予測した。2019年のヒノキ科花粉の予測数は、3,662個であった。

$$Y = 434X - 10,920 \quad (r^2 = 0.31434, \quad p = 0.0101, \quad n = 20)$$

Y = ヒノキ科花粉予測数, X = 前年7月最高気温平均値

2019年のヒノキ科花粉予測数 : 3,662個

年間ヒノキ科花粉数と良い相関関係が認められた7月の年次気温差から回帰式を求め、7月の年次気温差(2.1℃)を用いて2019年のヒノキ科花粉数を予測した。2019年のヒノキ科花粉の予測数は、2,805個であった。

$$Y = 245X + 2,290 \quad (r^2 = 0.272451, \quad p = 0.0182, \quad n = 20)$$

Y = ヒノキ科花粉予測数, X = 7月の年次気温差

2019年のヒノキ科花粉予測数 : 2,805個

【考察】

2018年における吉備リハの年間ヒノキ科花粉数は3,036個であり、3,694個とした予測数の約82.2%であった。また、過去28年間のヒノキ科花粉平均値である2,535個の約1.20倍であった。こやま薬局におけるヒノキ科花粉の実測数は3,242個であり、予測数である2,711個の約1.20倍という結果であった。吉備リハにおけるヒノキ科花粉数は、2001年をピークに減少傾向にあった。また、こやま薬局では、1999年以降の年間ヒノキ科花粉数はプラトーに推移している事が認められた。

岡山県においては、スギ花粉症への対策として、平成13年に「スギ花粉発生抑制対策推進方針」が定められ、無花粉スギ等品種の育種の取り組みが公表された¹⁰⁻¹¹⁾。さらに、平成20年2月に「少花粉スギ・ヒノキ普及推進プラン」が作成され、少花粉スギ等苗木の生産整備体制が進んでいる。また、中国5県連携による広域的な取り組みも開始されている事を報告した⁶⁾。そのため、岡山県においては、花粉生産の可能性のあるスギ樹木の植林面積を全体的に考慮すると、花粉生産性としてのスギ人工林面積は全体的に平衡状態から減少傾向にあると推察される⁶⁾。この事は、岡山県内2施設の年間ヒノキ科花粉状況の推移と一致するものと考えられる。

吉備リハにおける年間スギ花粉数と年間ヒノキ花粉数の検討では、1999年以降のヒノキ花粉の平均値が1,765個であるのに対し、スギ花粉の平均値が1,005個でありヒノキ花粉が1.76倍多く飛散していた。こやま薬局では、20年間のスギ花粉の平均値が1,202個に対し、ヒノキ花粉が1,123個でありスギ花粉が1.07倍とほぼ同数であった。岡山県におけるヒノキ科花粉の飛散状況は、県中部の吉備リハにおいてヒノキ花粉が多く飛散し、県南部ではスギ花粉とヒノキ花粉がほぼ同数飛散しているものと考えられる。

2019年における吉備リハの年間ヒノキ科花粉の予測数を前年7月最高気温平均値と7月の年次気温差を用いて予測した結果、吉備リハにおいては3,800~5,900個、こやま薬局においては2,800~3,700個と予測された。しかしながら、近年の異常気象ともいえる夏季の気温の上昇傾向や、豪雨による集中した降水量がヒノキ科花粉の飛散状況にどのような影響を及ぼすかは不明な点が多い。

スギ花粉症の有病率は、1998年の16.2%から2008年の26.5%へと増加しており、今後さらにスギ花粉症の患者が増加する事が懸念されている²⁾。また、花粉症を含めた小児へのアレルギー疾患が低年齢化している事も問題とされている。このような社会情勢から、アレルギー疾患対策基本法が2015年に施行され2017年3月に公表された¹²⁾。今後も花粉観察を継続して行い、ヒノキ科花粉の年次推移や年間ヒノキ科花粉数の予測を行う事で予防医学としての役割を果たす事が必要である。

【引用文献】

- 1) 宇佐神篤・富田啓一・名倉昌利・高木恭子：空飛ぶ花粉とたたかう～花粉症の臨床と治療の最前線～. 花粉誌, 62, 93-103 (2017) .
- 2) 鼻アレルギー診療ガイドライン作成委員会：鼻アレルギー診療ガイドラインー通年性鼻炎と花粉症ー2016年版（改訂第8版）. ライフサイエンス, 東京 (2017) .
- 3) 難波弘行・坪井 昭・香川伸二・三好教夫：スギ科・ヒノキ科空中花粉の予測式について. 備讃空中花粉研究会誌, 5, 28-31 (1994) .
- 4) 難波弘行・渡辺浩文・小山敏章・板野久実子・名部 誠：岡山県におけるヒノキ科花粉の飛散状況と今後の予測. 中国四国空中花粉研究会誌, 26, 30-38 (2015) .
- 5) 難波弘行・渡辺浩文・小山敏章・板野久実子・名部 誠：岡山県におけるヒノキ科花粉の予測数について. 中国四国空中花粉研究会誌, 27, 2-7 (2016) .
- 6) 難波弘行・木村裕子・渡辺浩文・小山敏章・板野久実子・名部 誠：岡山県におけるヒノキ科花粉の推移の検討. 中国四国空中花粉研究会誌, 28, 8-13 (2017) .
- 7) Durham, O.C.: The volumetric incidence of atmospheric allergens. IV. A proposed standard method of gravity sampling, counting, and volumetric interpolation of results. J. Allergy, 17, 79-86(1946).
- 8) 佐橋紀男・岸川禮子・西間三啓・長野 準：日本における空中花粉測定および花粉情報の標準化に関する研究報告. 花粉誌, 39, 129-134 (1993) .
- 9) 気象庁気象統計情報：
http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/view/monthly_s3.php?prec_no=66&block_no=47756&year=&month=&day=&view=a2 (accessed 8 June 2018)
- 10) 岡山県少花粉スギ・ヒノキ普及推進計画：
http://www.pref.okayama.jp/uploadedlife422399_2704587_misc.pdf (accessed 8 June 2018)
- 11) 岡山県少花粉スギ・ヒノキ普及及び推進の取り組みについて：
<http://www.pref.okayama.jp/page/detail-19235.html> (accessed 8 June 2018)
- 12) 西間三馨：アレルギー疾患対策基本法とアレルギー診療の均霑化. アレルギー, 663, 109-203 (2017) .

愛媛県松山市における2018年の年間ヒノキ科花粉予測数と実測数の検討 —2019年の年間ヒノキ科花粉数の予測—

柏木彩華^{1, 2)}, 尾花英里香^{1, 2)}, 内田真美¹⁾, 藤井 遼²⁾, 柿原千紘³⁾, 難波弘行^{1, 2)}

¹⁾ 松山大学薬学部, ²⁾ 中国四国空中花粉研究会, ³⁾ みなら薬局

【はじめに】

1996年以降, 松山市における年間ヒノキ科花粉数を観察した結果, 年間ヒノキ科花粉数は, 1996年以降, 年毎に増減を繰り返しながら増加傾向にあり, 1997年, 2001年, 2005年, 2009年, 2013年と4年に1度, 大量飛散していた. また, 松山市で観察される年間ヒノキ科花粉数は, 前年7月最高気温平均値や7月の年次気温差(昨年7月最高気温平均値—昨年7月最高気温平均値¹⁾)との間に良い相関関係が認められる事を報告した²⁻⁸⁾.

2016年7月の最高気温平均値や7月の年次気温差が高かった事や, 2017年の年間ヒノキ科花粉数が4年に一度の大量飛散年に当たるため, 2017年の年間ヒノキ科花粉数を約10,000個/cm²(以下, 個)飛散すると予測したが, 実測数は4,141個と平年並みの飛散数であった. 原因を探るために愛媛県のヒノキ科樹木(スギ, ヒノキ)の植林面積を検討した結果, スギの植林された面積は1984年以降, 著しく少ない事が確認できた. ヒノキの植林された面積に関しても, 1999年以降, 少ない事が明らかとなった. この事から, 愛媛県におけるヒノキ科花粉の飛散数は, 年毎に増減は繰り返すものの, 増加傾向は示さないと考えられる事を報告した⁸⁾.

今回我々は, 年間ヒノキ科花粉数(年間スギ花粉数及び年間ヒノキ花粉数)の推移を再度確認した. また, 2018年の年間ヒノキ科花粉の飛散数を予測した結果⁸⁾と実測数とに関して検討を行うと共に, 2019年の年間ヒノキ科花粉数について予測を行ったので報告する.

【方法】

1) ヒノキ科空中花粉の捕集・観察方法

ヒノキ科花粉の捕集には, ダーラム型花粉捕集器⁹⁾を用い, 空中花粉測定と花粉情報標準化委員会の報告¹⁰⁾に従い計測した. 1月1日から5月10日まで, 原則午前9時にワセリンを塗布したスライドガラスを捕集器に設置し, 24時間ごとに交換を行った. 回収したスライドガラスに付着した花粉をCarberla液で染色後, 光学顕微鏡下で3.24cm²(1.8cm×1.8cm)を計測し, 1cm²あたりの花粉数として表した.

2) 花粉観測施設と観測期間, および気象観測所

i) 花粉観測施設と観測期間

松山市における花粉観測施設と観測期間

- ・愛媛県立中央病院: 愛媛県松山市春日町(1996年~2005年)
- ・松山大学: 愛媛県松山市文京町(2006年~2018年)

ii) 2018年までの年間ヒノキ科花粉数(年間スギ花粉数, 年間ヒノキ花粉数)の推移

松山市の年間ヒノキ科花粉数は, 1996年~2018年を対象として, 3年移動平均値及び5年

移動平均値として検討した。年間スギ花粉数と年間ヒノキ花粉数の推移に関しても、ヒノキ科花粉をスギ花粉とヒノキ花粉とに識別して観測した2006年以降の松山大学の各々の花粉数として同様に検討した。

iii) 松山市における2018年の年間ヒノキ科花粉予測数と実測数の検討と2019年ヒノキ科花粉予測数

年間ヒノキ科花粉予測数に関して用いた気象条件は、気象庁¹¹⁾ から公表されており、良い相関関係が認められた財田気象観測所の前年7月の最高気温平均値と年次気温差を用いた。2018年のヒノキ科花粉予測数⁹⁾ と2018年のヒノキ科花粉実測数について検討し、2019年の年間ヒノキ科花粉数についても予測した。

【結果】

1) 松山市における2018年ヒノキ科花粉飛散状況，年間ヒノキ科花粉数（年間スギ花粉数および年間ヒノキ花粉数）の推移

i) 松山市における2018年のヒノキ科花粉の飛散状況

松山市における2018年のヒノキ科花粉の飛散状況を以下に示す（図1）。スギ花粉の初観測日は1月24日，飛散開始日は2月14日であった。1日の最大飛散数は，3月6日の363個であった。スギ花粉の飛散終了日は，4月11日であった。2018年のスギ花粉飛散数は，1,852個であった。

ヒノキ花粉の初観測日は3月13日，飛散開始日は3月23日であった。また，1日の最大飛散数は，3月29日の743個であった。ヒノキ花粉の飛散終了日は，5月1日であった。2018年のヒノキ花粉は，3,492個であった。以上より，2018年に飛散したヒノキ科花粉数は5,344個であった。

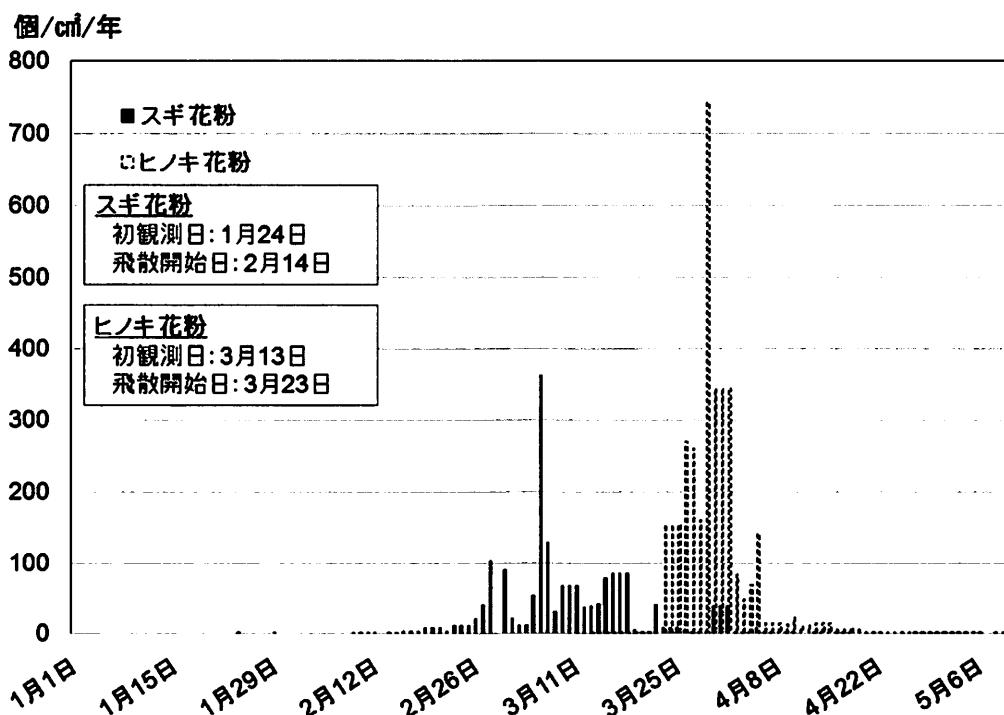


図1. 松山市（松山大学）における2018年のヒノキ科花粉の推移

個/cm³/年

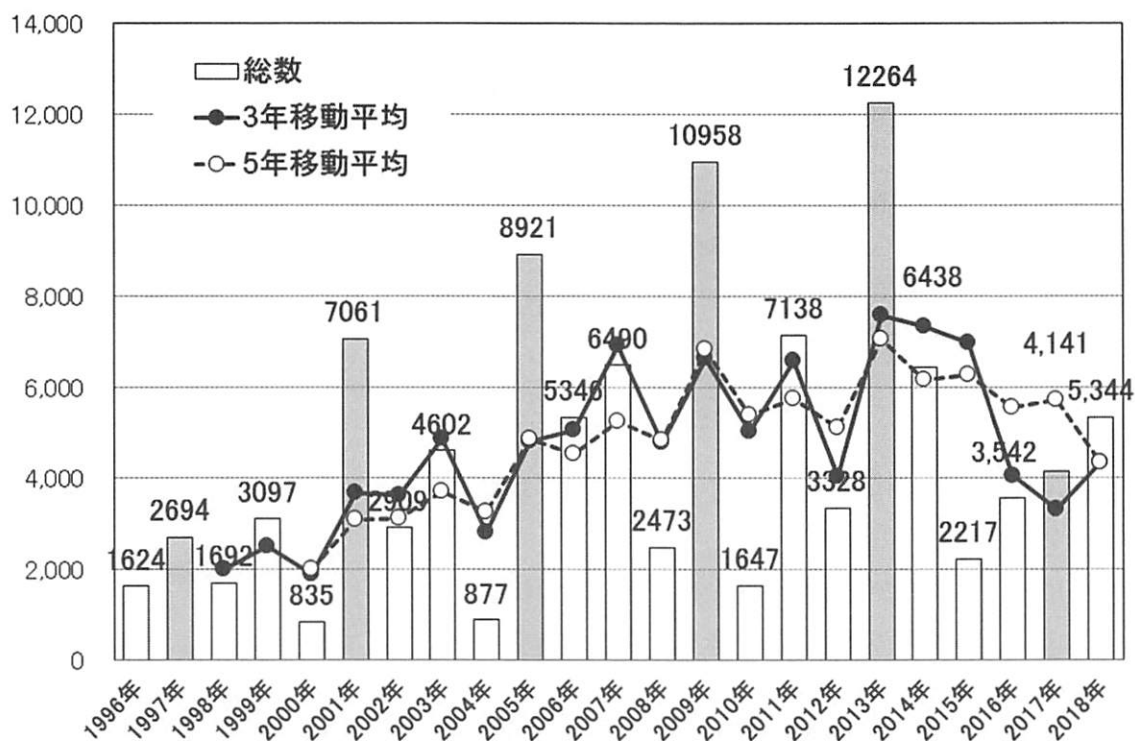


図2. 松山市における年間ヒノキ科花粉数の推移

個/cm³/年

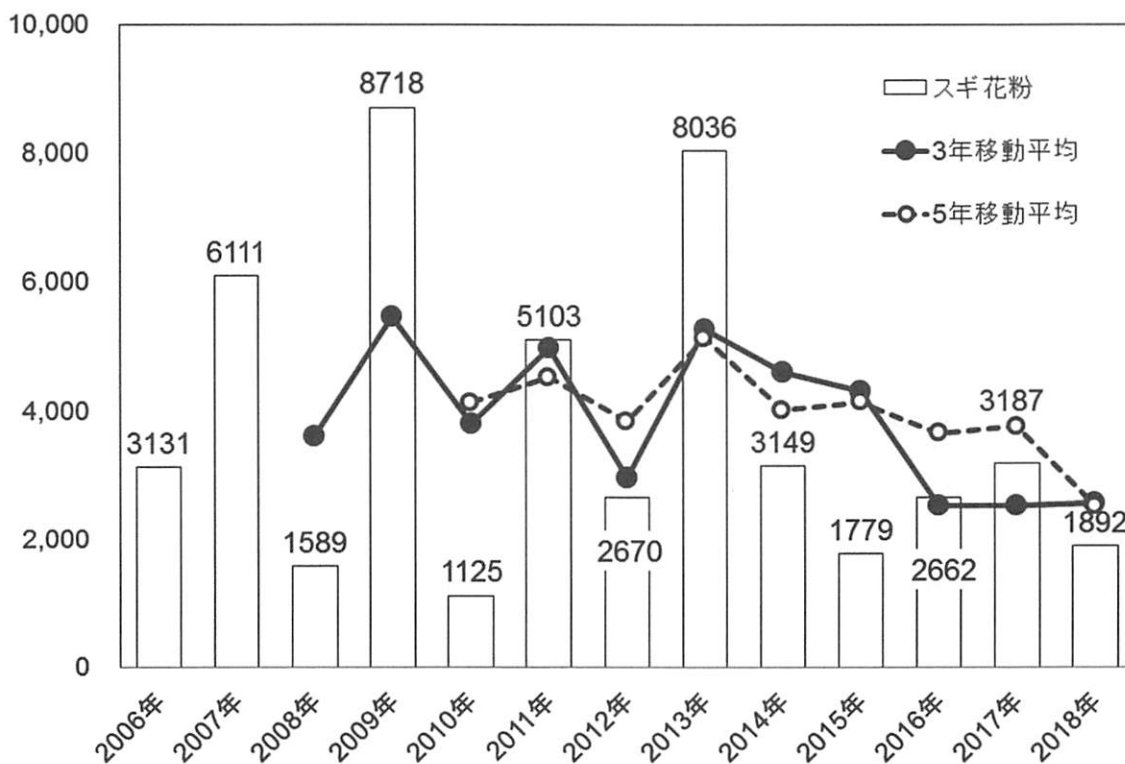


図3. 松山市における年間スギ花粉数の推移

ii) 松山市における年間ヒノキ科花粉数（年間スギ花粉数および年間ヒノキ花粉数）の推移

松山市における、年間ヒノキ科花粉数の年次推移、年間ヒノキ科花粉数の3年移動平均値と5年移動平均値を示す（図2）。23年間の年間ヒノキ科花粉数の平均値は、4,593個であった。年間ヒノキ科花粉数は、1997年、2001年、2005年、2009年、2013年と増減を繰り返しながら4年に1度、大量飛散していたが、2017年は4,141個と平年並みの飛散数であり、2018年は5,344個であった。年間ヒノキ科花粉数の3年移動平均値と5年移動平均値に関しても、2013年までは増加傾向となっていたが、2014年以降は平衡状態から減少傾向となっていた。

松山市における年間スギ花粉数の年次推移を示す。また、年間スギ花粉数の3年移動平均値と5年移動平均値を示す（図3）。年間スギ花粉数において平衡状態から減少傾向となっており、増加傾向は認められなかった。過去13年間の年間スギ花粉数平均値は、3,778個であった。

松山市における年間ヒノキ花粉数の年次推移を示す。また、年間ヒノキ花粉数の3年移動平均値と5年移動平均値を示す（図4）。年間ヒノキ花粉数において、5年移動平均値は上昇傾向から平衡状態となっていた。過去13年間の年間ヒノキ花粉数平均値は、1,709個であった。松山市においては、年間スギ花粉数の方が年間ヒノキ花粉数より多く飛散しているが、2014年と2018年の2年間は、年間ヒノキ花粉数が多いという結果であった。

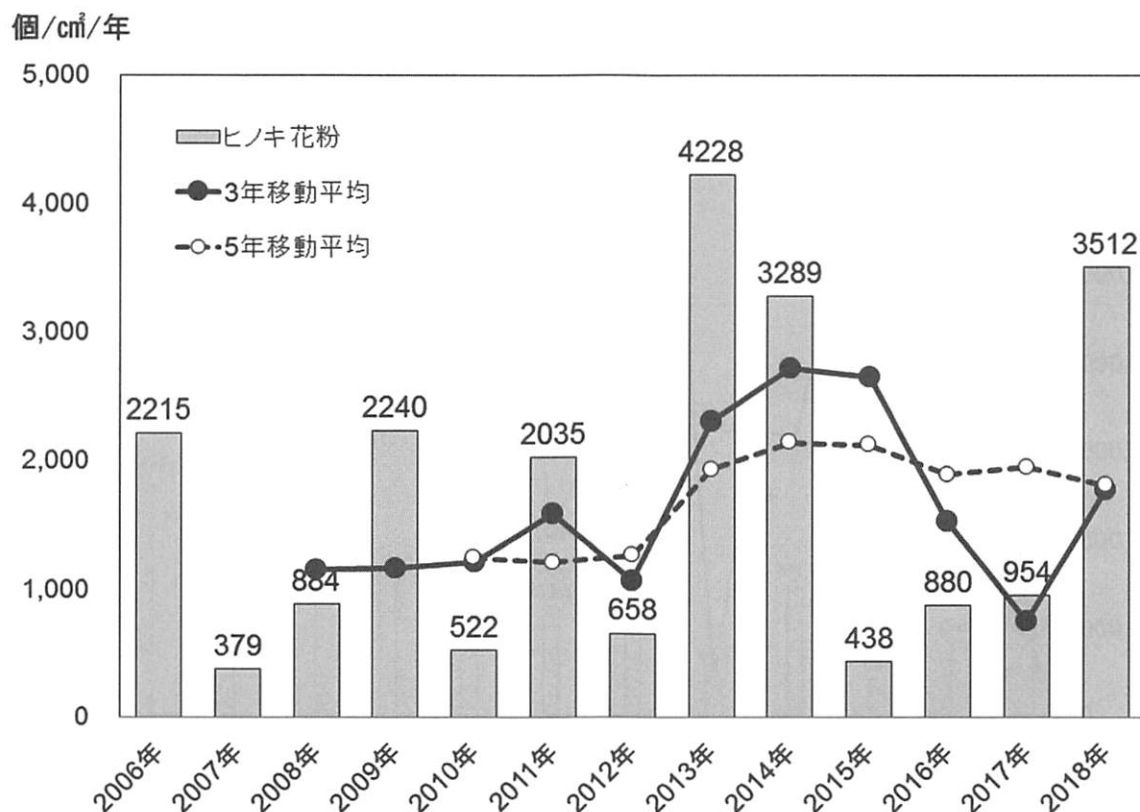


図4. 松山市（松山大学）における2017年のヒノキ花粉数の推移

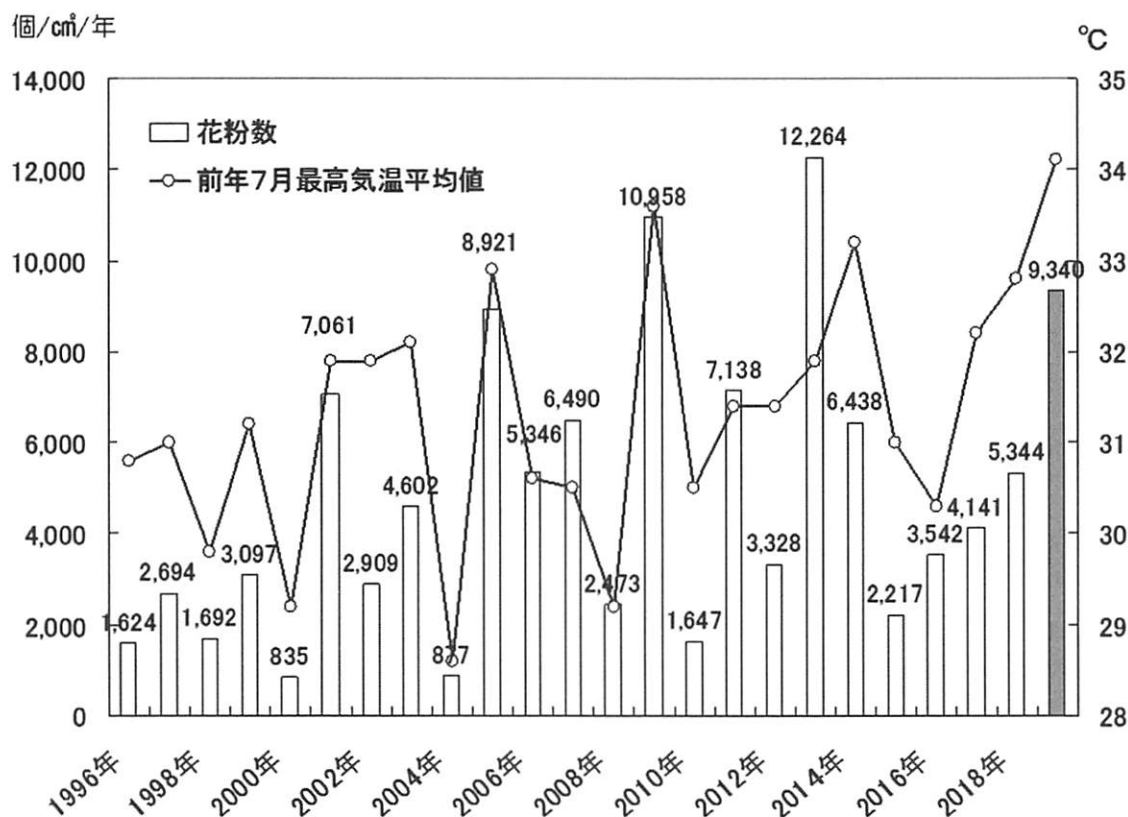


図5. 松山市における年間ヒノキ科花粉数と前年7月最高気温平均値との関係

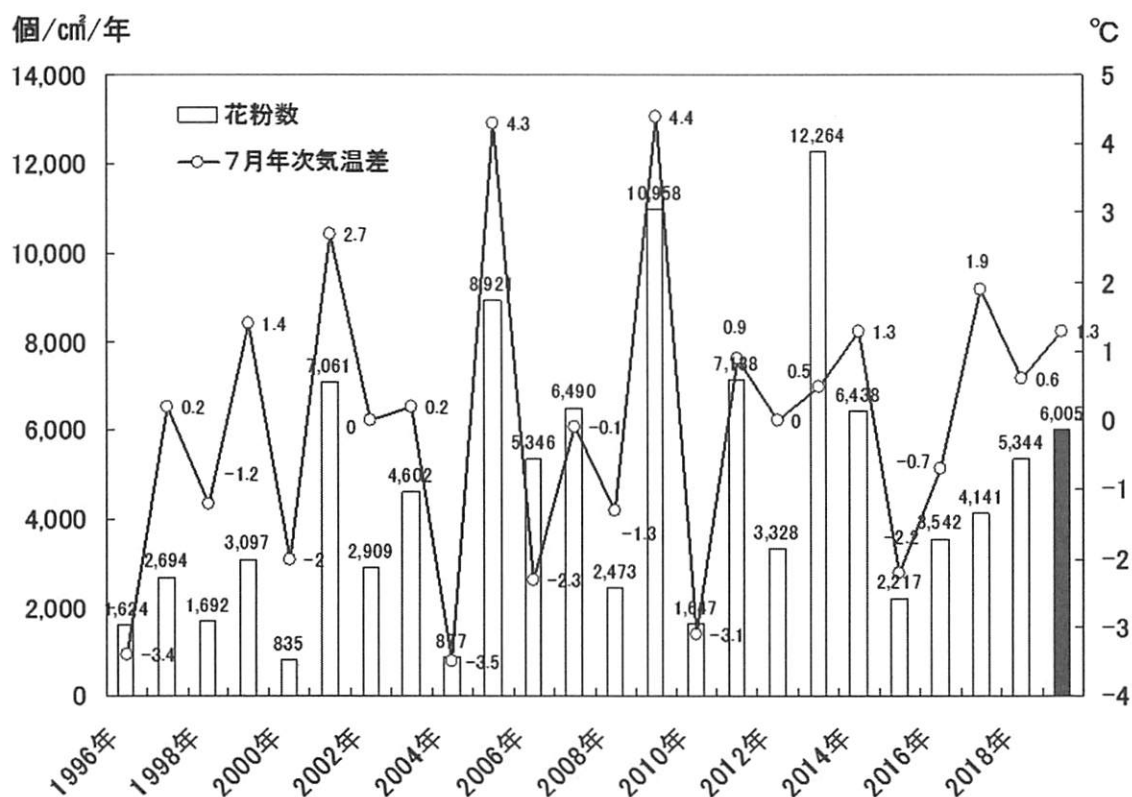


図6. 松山市の年間ヒノキ科花粉数の推移と7月の年次気温差（財田）との関係

2) 2018年における年間ヒノキ科花粉の予測数と実測数

松山市における2018年のヒノキ科花粉飛散数は、年間ヒノキ科花粉数と良い相関関係の認められた前年7月最高気温平均値並びに7月の年次気温差より、5,000~7,000個と予測した⁸⁾。2018年のヒノキ科花粉実測数は5,344個であり、比較的良く一致した結果であった。

3) 2019年における年間ヒノキ科花粉の予測数

i) 前年7月最高気温平均値

年間ヒノキ科花粉数と前年7月最高気温平均値との間に良い相関関係が認められた。回帰式より得られた花粉数は、2018年7月の最高気温平均値が34.1℃であったので9,340個と予測された(図5)。

$$Y = 1,646X - 46,788 \quad Y : \text{年間ヒノキ科花粉予測数}, X : \text{前年7月最高気温平均値} \\ (r^2 = 0.47609, p = 0.0003, n = 23)$$

ii) 7月の年次気温差

年間ヒノキ科花粉数と7月の年次気温差との間に最も良い相関関係が認められた。回帰式より得られた花粉数は、2018年7月と2017年7月の年次気温差が1.3℃であったので6,005個であった(図6)。

$$Y = 1,038X + 4,656 \quad Y : \text{年間ヒノキ科花粉予測数}, X : \text{7月年次気温差} \\ (r^2 = 0.527417, p < 0.0001, n = 23)$$

【考察】

松山大学における、2018年のスギ花粉の主な飛散時期は、2月中旬から3月中旬であった。一方、ヒノキ花粉の主な飛散時期は、3月中旬から4月中旬であり、スギ花粉の飛散時期より1ヶ月遅れて飛散していた。2018年のスギ花粉数は1,852個、ヒノキ花粉数は3,492個であり、ヒノキ花粉が約1.9倍多く飛散していた。2018年までの過去13年間のスギ花粉数平均値は3,778個であり、ヒノキ花粉数平均値は1,709個であった。年間スギ花粉数はヒノキ花粉数の約2.2倍となっており、松山市ではスギ花粉の飛散数がヒノキ花粉よりも多いという結果であった。松山大学における年間スギ花粉数は、平衡状態から減少傾向になっている事が認められた。これは3年移動平均値や5年移動平均値からも類推できる結果であった。一方、年間ヒノキ花粉数は、2006年以降、5年移動平均値から増加傾向からプラトーな状態になっていた。

愛媛県立中央病院と松山大学において観察された、松山市の年間ヒノキ科花粉数の推移に関しては、愛媛県立中央病院(1996年~2005年)と松山大学(2006年~2015年)の花粉数で継続して検討する事に問題がない事を報告しており²⁾、本年度も継続して松山市としての年間ヒノキ科花粉数として検討した。松山市における、年間ヒノキ科花粉と財田気象観測所の前年7月の最高気温平均値、及び7月の年次気温差との間には良い相関関係が認められる²⁻⁸⁾。これらの気象条件を用いて2018年の年間ヒノキ科花粉数は、5,000~7,000個と予測したが、実測数は5,344個であった。2018年の年間ヒノキ科花粉の実測数は、予測数の76~107%となり良く一致していた。松山市における年間ヒノキ科花粉数は、1996年以降2013年まで増減を繰り返しながら増加傾向

が認められたが、3年移動平均値や5年移動平均値においては2014年以降、減少傾向に転じていた。この原因として、ヒノキ科樹木の植林面積を調査した結果、愛媛県に植林されているヒノキ科樹木の植林面積が1959～1963年をピークに減少しており、新たに花粉を飛散させる精英樹の面積が少ない事を報告した⁸⁾。現在、花粉がほとんど生産されない花芽を着ける新品種のスギやヒノキの樹木が発見され、その育種が行われている。さらに、遺伝子操作を行い花粉のない花芽のスギやヒノキの研究が進んでいる¹³⁾。今後、新たに花粉を飛散させる可能性のあるヒノキ科樹木の植林面積が少ない事や、ヒノキ科樹木が伐採された後に、植林されるヒノキ科樹木が小花粉スギ・ヒノキや花粉を生産しない品種改良されたヒノキ科樹木が植林される事を考慮すると、愛媛県における今後のヒノキ科花粉の飛散数は、年毎に増減を繰り返すものの、増加傾向は示さないものと予測される。

2019年の年間ヒノキ科花粉数を前年7月最高気温平均値と7月の年次気温差を用いて予測した結果、6,005個～9,340個となったが、最も良い相関関係が認められた7月の年次気温差からの予測数は6,005個であった。花粉生産量として重要なヒノキ科樹木の面積が広がる割合と、伐採され縮小する面積とを考慮すると、7月の気象条件を用いて予測するうえで適正な予測が可能になると考えられる。しかしながら、スギの花芽の着芽に影響を与える7月の気温が異常な上昇傾向にある事や、夏季の集中豪雨による降水量がヒノキ科樹木の花芽形成にどのような影響を及ぼすか不明瞭な点が多い。今後も花粉観察を継続して年間ヒノキ科花粉数の推移を検討し、県民へのスギ花粉症対策に貢献する事が必要である。

【引用文献】

- 1) 高橋裕一・川島茂人：夏季気温の年次差を利用したスギ花粉飛散量の新予測方法。アレルギー, 48, 1217-1221 (1999)。
- 2) 柿原千紘・藤井 遼・嶋崎真耶・内田真美・難波弘行：愛媛県松山市における年間ヒノキ科花粉の推移と予測の可能性。中国四国空中花粉研究会誌, 26, 19-29 (2015)。
- 3) 檜垣義光：愛媛県における2004年スギ・ヒノキ科花粉飛散数の予測。備讃空中花粉研究会誌, 14, 35-40 (2003)。
- 4) 檜垣義光・樋口宜寿・伊関孝一：四国における2005年スギ・ヒノキ科花粉飛散数の予測。備讃空中花粉研究会誌, 15, 12-19 (2004)。
- 5) 檜垣義光・樋口宜寿・伊関孝一：四国における2006年スギ・ヒノキ科花粉飛散数の予測。備讃空中花粉研究会誌, 16, 14-18 (2005)。
- 6) 檜垣義光・伊関孝一・難波弘行：四国における2008年スギ・ヒノキ科花粉飛散数の予測。備讃空中花粉研究会誌, 18, 8-13 (2007)。
- 7) 藤井 遼・柿原千紘・嶋崎真耶・内田真美・難波弘行：愛媛県松山市におけるヒノキ科花粉供給地域の推定一年間ヒノキ科花粉の推移と予測一。中国四国空中花粉研究会誌, 27, 14-21 (2016)。
- 8) 内田真美・藤井 遼・柿原千紘・嶋崎真耶・難波弘行：愛媛県松山市における年間ヒノキ科花粉数の推移と2018年の予測数。中国四国空中花粉研究会誌, 28, 2-7 (2017)。
- 9) Durham, O.C.: The volumetric incidence of atmospheric allergens. IV. A proposed

standard method of gravity sampling, counting, and volumetric interpolation of results. J. Allergy 17, 79-86 (1946) .

10) 佐橋紀男・岸川禮子・西間三啓・長野 準：日本における空中花粉測定および花粉情報の標準化に関する研究報告. 花粉誌, 39, 129-134 (1993) .

11) 気象庁ホームページ.

URL: <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php> (accessed 8 June 2018).

12) 愛媛県農林水産部森林局林業政策課資料

13) 岡山県少花粉スギ・ヒノキ普及推進計画.

URL:http://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/422399_2704587_misc.pdf (accessed 8 June 2018).

愛媛県今治市と新居浜市における 2019年のヒノキ科（スギ属・ヒノキ属）花粉飛散数の予測

桧垣義光¹⁾， 神野由美子²⁾

¹⁾ 今治空中花粉研究会， ²⁾ 十全総合病院臨床検査科

【はじめに】

年間ヒノキ科花粉数（以下，年間花粉数）と前年7月の最高気温平均値，前年7月の最高気温平均値の年次気温差，年間花粉数と前年7月の平均気温平均値，年間花粉数と前年7月の平均気温平均値の年次気温差などとの間には有意な相関関係が認められるため¹⁻⁴⁾，愛媛県では2003年から継続して次年度の年間花粉数を予測している⁵⁻¹⁷⁾。

ここでは，年間ヒノキ科花粉数と前年7月の最高気温平均値，年間花粉数と前年7月の最高気温平均値の気温差を用いて2019年の年間花粉数を予測した。

愛媛県今治市と新居浜市の2018年の年間花粉数の予測数は前年7月の最高気温平均値から今治市5,879個，新居浜市8,686個と予測した。また，前年7月の最高気温平均値の年次気温差からは今治市4,926個，新居浜市6,410個と報告した。

2018年の年間花粉数の実測数は，今治市8,693個，新居浜市12,982個であり，今治市の場合，予測数は実数値と比較して少なかった。また，新居浜市も，予測数は実数値と比較して少ないという結果だった。特に，新居浜市の気温差の場合は，半分以下の少なさであった。そこで，どちらかという，前年7月の最高気温平均値の予測数のほうが，より実数値に近いことがわかった。

そこで今年（2018年）もまた，前年7月の最高気温平均値や前年7月の最高気温平均値の気温差を用いて次年度（2019年）の年間花粉数を愛媛県今治市と新居浜市の2花粉観測施設（以下観測施設）について予測した。また，今治市におけるスギ属とヒノキ属花粉数との割合などについても検討した。

【方法】

1) 観測施設

- ①愛媛県東部西・・・今治精華高校（以下，精華高校）：今治市中日吉町
- ②愛媛県東部東・・・十全総合病院（以下，十全病院）：新居浜市北新町

2) 気象条件

今治気象測候所，新居浜気象測候所におけるAMeDAS気象データのうち，7月の最高気温平均値，7月の年次気温差（前年7月の最高気温平均値－前々年7月の最高気温平均値）を用いた。調査内容ヒノキ科（スギ属・ヒノキ属）花粉の捕集にはダーラム型花粉捕集器を使用し，2月1日から5月10日（十全病院は2月1日～4月30日）まで，日本花粉学会で定められた方法にて染色および計測して年間花粉数とした¹⁸⁾。

年間花粉数と前年7月の最高気温平均値，前年7月の年次気温差の各気象条件との相関関係について検討し，2018年における年間花粉数を予測した。統計処理には単回帰分析を行い，

p<0.05を有意差ありとした。

【結果】

1) 2019年の年間花粉数の予測について

愛媛県内2観測施設の2009年～2018年まで10年間の年間花粉数の平均値を示す。また、総花粉数と今回対象とした気象条件との間の相関関係を示した(表1)。

表1. 2市の年間花粉数の平均値と2019年の年間花粉予測数

	今治市	新居浜市
年間花粉数の平均値 (2009～2018年)	5,157	7,863
予測数 (前年7月の最高気温平均値)	6,378	9,534
予測数 (前年7月の最高気温の気温差)	4,385	6,949

2) 2019年の年間花粉数の予測について

i) 2市における年間花粉数と前年7月の最高気温平均値との関係

各市において、年間花粉数と前年7月の最高気温平均値の間には有意な関係が認められた。

①今治市： $Y = 1,326X - 35,921$ (n=13, r=0.5710, p=0.0415)

②新居浜市： $Y = 2,855X - 82,683$ (n=10, r=0.6393, p=0.0466)

Y=年間花粉数, X=前年7月の最高気温平均値(℃)

2018年7月の最高気温平均値が今治市31.9℃, 新居浜市32.3℃,であったので, 2019年の年間花粉数は今治市6,378個/cm², 新居浜市9,534個/cm²と予測される。

ii) 2施設における年間花粉数と前年7月の最高気温平均値の年次気温差との関係

各施設において、年間花粉数と前年7月の最高気温平均値の年次気温差の間には有意な関係が認められた。

①今治市： $Y = 624X + 4,635$ (n=15, r=0.5384, p=0.0384)

②新居浜市： $Y = 1,187X + 6,830$ (n=14, r=0.5329, p=0.0497)

Y=年間花粉数, X=前年7月の最高気温平均値の年次気温差

2018年の7月最高気温平均値の気温差が今治市-0.4, 新居浜市0.1であったので, 2019年の年間花粉数は, 今治市4,385個/cm², 新居浜市6,949個/cm²と予測される。

今治市, 新居浜市における2009年から2018年までの10年間の年間花粉数の平均値は, 5,151個/cm², 7,863個/cm²であった。そこで, 過去10年の年間花粉数の平均値と, 前年7月の最高気温平均値および7月の年次気温差を用いた年間花粉予測数を比較した。そうすると, 今治市では予測数は過去10年間の85.0～123.7%, 新居浜市での予測数は過去10年間の88.4～121.3%となる。そこで, 2019年の予測数は過去10年間平均値と比べて最高気温では多く, 気温差では少ないという

結果であり，双方から考えてほぼ平年並みの飛散数になると考えられる。

3) 今治市における年間スギ属花粉数と年間ヒノキ属花粉数の推移

表2に今治市における過去18年間の年間スギ属花粉数と年間ヒノキ属花粉数の割合と推移などを示す。

この表から，大きくいって，今治市の年間花粉数は2001年，2005年，2009年，2013年というように4年に一度大量飛散している。しかし，次の4年後の2017年は3,018個と大量飛散でなく，2018年が8,693個と大量飛散になっている。これは，どちらかと言えばスギ花粉よりもヒノキ花粉の飛散に原因があると考えられる。すなわち，4年後の2017年ヒノキ花粉は866個で少なく，5年目のヒノキ花粉が5,804個と大量飛散となっているからである。

次に，過去18年の年間花粉数に占めるヒノキ属花粉の割合は，平均で約40.0%であり，2006年，2014年と2018年以外はスギ属花粉数が優位であることが判明した。また，2018年はヒノキ属の花粉数が18年中5,804個と最高で，比率も66.8%と最高の比率でもあった。

表2. 今治市における年間スギ属花粉数とヒノキ属花粉の比較

年	年間スギ属花粉 (個/cm ²)	年間ヒノキ属花粉 (個/cm ²)	総花粉数 (個/cm ²)	ヒノキ属の割合 (%)
2001	5,129	2,975	8,104	36.7
2002	1,783	299	2,082	14.4
2003	2,575	1,288	3,863	33.3
2004	729	211	940	22.4
2005	5,008	2,668	7,676	34.8
2006	1,639	2,640	4,279	61.7
2007	2,883	640	3,523	18.2
2008	1,658	873	2,531	34.5
2009	3,000	2,654	5,654	46.9
2010	808	420	1,228	34.2
2011	4,119	2,777	6,896	40.3
2012	2,985	676	3,661	18.5
2013	7,660	4,083	11,743	34.8
2014	2,338	3,921	6,259	62.7
2015	1,567	352	1,919	18.3
2016	1,862	638	2,500	25.5
2017	2,152	866	3,018	28.7
2018	2,889	5,804	8,693	66.8
平均	2,821	1,877	4,698	40.0

【考察】

愛媛県今治市と新居浜市では、年間花粉数と前年7月の最高気温平均値、年間花粉数と前年7月の最高気温平均値の年次気温差、年間花粉数と前年7月の平均気温平均値、年間花粉数と前年7月の平均気温平均値の年次気温差などとの間には有意な相関関係が認められるため、2003年から継続して次年度の年間花粉数を予測している⁵⁻¹⁷⁾。今回の調査では、年間花粉数と前年7月の最高気温平均値、年間花粉数と前年7月の最高気温平均値の年次気温差を用いて2019年の年間花粉数を予測した。その結果、2市における2種類の方法を用いた2019年の年間花粉数は、今治市は4,385～6,378個、新居浜市は6,949～9,534個であった。2019年の年間花粉数は、過去10年の年間花粉数の平均値と比較すると、今治市は85.0～113.2%、新居浜市は88.4～121.3%であると予測される。そこで、ヒノキ科（スギ花粉症）花粉症患者にとっては平年並みの飛散が予想されるので、前もってそれなりの対策を講ずる必要があると思われる。

一方、表2のヒノキ属花粉の場合、2004年や2012年のようにヒノキ属花粉が極端に少ない飛散の時、ヒノキ属植物の樹勢が残り2005年や2013年のように大量飛散になった。また、それらの翌年も、樹勢が残り、大量飛散となった。近年、ヒノキ花粉では2013年2014年続けて大量飛散になり、その結果、2015、2016、2017年と続けて少なくなっており、なぜこのような結果になったのか不明である。

ヒノキ花粉ではスギ花粉と比べて増減が極端になっており、ヒノキ花粉分析には特に注意を要する。今後、スギ花粉症の人はヒノキ花粉に注意を払う必要がある。

【引用文献】

- 1) 高橋祐一・川島茂人：夏期気温の年次気温差を利用したスギ花粉総飛散量の新予測方法。アレルギー, 48, 1217-1221 (1999)。
- 2) 田中孝治・岡田和智・各務智子・吉田真也・田口実佳・山崎 太：岐阜県大垣市における2005年のスギ花粉飛散数予測。花粉誌, 51, 13-16 (2005)。
- 3) 田中孝治・竹中翔也・岡田和智・日野光記枝・吉田真也・伊藤実沙子・伊藤加代・安田忠司・山崎 太：岐阜県大垣市における2011年のスギ・ヒノキ科花粉飛散予測。東海花粉症研究会誌, 22, 11-17 (2011)。
- 4) 藤井まゆみ・岡崎健二・牧山 清・久松健一：静岡県伊東市におけるスギ・ヒノキ科花粉飛散状況。アレルギー, 61, 51-62 (2012)。
- 5) 桧垣義光：愛媛県における2004年スギ・ヒノキ科花粉飛散数の予測。備讃空中花粉研究会誌, 14, 35-40 (2003)。
- 6) 桧垣義光・樋口宜寿・伊関孝一：四国における2005年スギ・ヒノキ科花粉飛散数の予測。備讃空中花粉研究会誌, 15, 12-19 (2004)。
- 7) 桧垣義光・樋口宜寿・伊関孝一：愛媛県における2006年スギ・ヒノキ科花粉飛散数の予測。備讃空中花粉研究会誌, 16, 14-8 (2005)。
- 8) 桧垣義光・樋口宜寿・伊関孝一：愛媛県における2008年スギ・ヒノキ科花粉飛散数の予測。備讃空中花粉研究会誌, 18, 8-13 (2007)。
- 9) 桧垣義光・樋口宜寿・伊関孝一：愛媛県における2009年スギ・ヒノキ科花粉飛散数の予測。

- 中国・四国空中花粉研究会誌, 19, 7-11 (2008) .
- 10) 桧垣義光・伊関孝一・大泉えり子・神野由美子・難波弘行：愛媛県における2010年スギ・ヒノキ科花粉飛散数の予測. 中国・四国空中花粉研究会誌, 20, 4-8 (2009) .
 - 11) 桧垣義光・伊関孝一・大泉えり子・神野由美子・難波弘行：愛媛県における2011年スギ・ヒノキ科花粉飛散数の予測. 中国・四国空中花粉研究会誌, 21, 31-35 (2010) .
 - 12) 桧垣義光・伊関孝一・大泉えり子・神野由美子・難波弘行：愛媛県における2012年スギ・ヒノキ科花粉飛散数の予測. 中国・四国空中花粉研究会誌, 22, 12-17 (2011) .
 - 13) 桧垣義光・伊関孝一・大泉えり子・神野由美子・難波弘行：愛媛県における2013年スギ・ヒノキ科花粉飛散数の予測. 中国・四国空中花粉研究会誌, 23, 9-14 (2012) .
 - 14) 桧垣義光・伊関孝一・大泉えり子・神野由美子・難波弘行：愛媛県における2014年のヒノキ科（スギ属・ヒノキ属）花粉飛散数の予測. 中国・四国空中花粉研究会誌, 24, 12-17 (2013) .
 - 15) 桧垣義光・伊関孝一・神野由美子：愛媛県における2016年のヒノキ科（スギ属・ヒノキ属）花粉飛散数の予測. 中国・四国空中花粉研究会誌, 26, 2-7 (2015) .
 - 16) 桧垣義光・神野由美子：愛媛県における2017年のヒノキ科（スギ属・ヒノキ属）花粉飛散数の予測. 中国・四国空中花粉研究会誌, 27, 8-13 (2016) .
 - 17) 桧垣義光・神野由美子：愛媛県今治市と新居浜市における2018年のヒノキ科（スギ属・ヒノキ属）花粉飛散数の予測. 中国・四国空中花粉研究会誌 28, 22-26 (2017) .
 - 18) 佐橋紀男・岸川禮子・西間三啓・長野 準：日本における空中花粉測定および花粉情報の標準化に関する研究報告. 花粉誌, 39, 129-134 (1993) .

平成29年度 中国・四国空中花粉研究会市民公開講座報告

小林耳鼻科醫院

小林英治

平成30年1月8日、高松市丸亀町レッツホール4階カルチャールームにおいて、平成29年度の市民公開講座を開催しました。例年のとおり3人の先生方に花粉飛散予想、アレルギー性鼻炎治療薬、アレルギー性鼻炎臨床全般についてご講演頂きました。

- ①一般財団法人日本気象協会関西支社 気象予報士 樋口宣寿先生に、平成30年のスギ・ヒノキ花粉の飛散予想と飛散時期の予想についてご講演頂きました。前年平成29年の夏の気候は各地で気温が上昇し、降水量が少なかった事を紹介。日照時間も平年を上回っていたが、花粉飛散についてスギ花粉はやや多くヒノキ花粉はやや少なく、合わせると例年と比べて同じもしくはやや少ないと予想されました。
- ②香川大学医学部附属病院薬剤部 田井達也先生に薬についてご講演頂きました。アレルギー性鼻炎に用いる薬剤、アレルギー性鼻炎のメカニズムおよびアレルギー性鼻炎に対する予防法についても言及されました。また抗アレルギー薬については内服薬に関する作用機序・副作用である眠気およびステロイド点鼻薬と市販点鼻薬の効用と注意点について解説されました。さらにはかかりつけ薬局の重要性、一般用医薬品の説明書についてもわかりやすく説明されました。
- ③大阪はびきの医療センター耳鼻咽喉科 主任部長 川島佳代子先生に、花粉症に対する最新の情報を踏まえてご講演頂きました。まずはアレルギー性鼻炎についての検査、薬剤についての基礎知識を。さらには、花粉症と口腔アレルギーの関係について説明頂きました。花粉症有病者は果物などの食物アレルギーを合併している可能性があり、詳しいアレルゲンに対する抗体価検査が重要であるとのことでした。そして、アレルゲン免疫療法（舌下免疫療法）と手術療法について解説されました。

これまでも、毎年市民公開講座が開催されてきましたが、一般市民の参加が少ないと言わざるを得ません。とても役に立つ講演をもっとたくさんの市民の方にとどけることができれば幸いです。

鼻炎に使う薬について～正しく使うからクスリになる～

田井達也

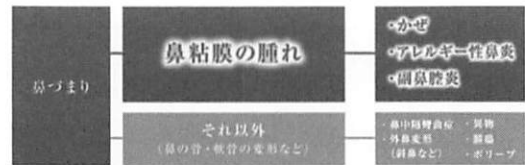
香川大学医学部附属病院薬剤部

【本日の内容】

①鼻炎に使う薬について

②クスリを正しく使いましょう

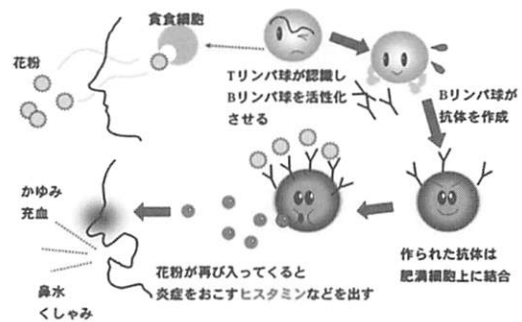
一鼻詰まりの原因とメカニズム一



一アレルギーはどんな病気？一



一アレルギー性鼻炎がおこるしくみ一



一アレルギー性鼻炎予防一

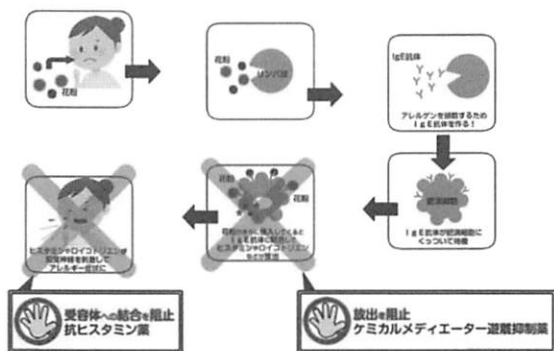


アレルゲンを体内に入れない！

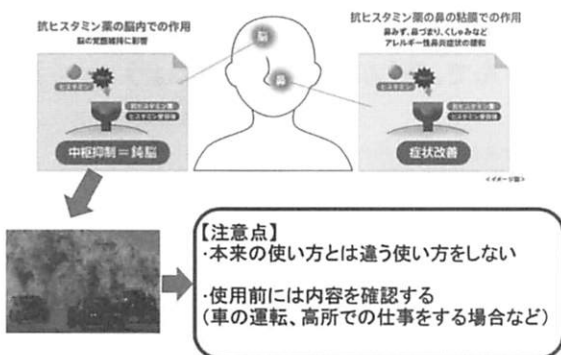


症状が出る前から抗アレルギー薬を服用すると、発症を抑えることができます！
花粉症の場合は飛散時期が予測できるので、予防が可能です

一鼻炎薬、内服薬のしくみ一



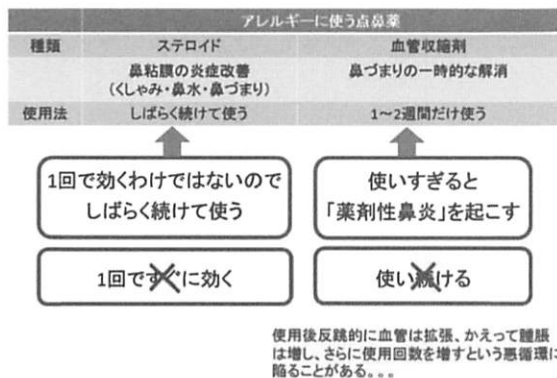
一薬と眠気と車の運転について



添付文書における眠気に関する具体的記載例

薬剤名	「重要な基本的注意」の表現
アレグラ	眠気に関する記載なし。
クラリチン	
ディレグラ	
デザレックス	眠気に関する記載なし。
ピラノア	眠気に関する記載なし。
タリオン	眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。
アレジオン	
エバステル	
ジルテック	眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には注意させないよう十分注意すること。
ザイザル	
アレロック	

薬物療法一点鼻薬



薬物療法一点鼻薬



薬局で市販されている各種の花粉尘点鼻薬

すぐに効果が得られやすいですが連用はお勧めできません。かえって鼻詰まりになることがあります

薬物療法一点鼻薬



セルフメディケーション



コンビニなどでも一部の医薬品の販売が可能

「軽い病気は大衆薬を使って自分で治す」

軽い病気？ 重い病気？ ⇒ 判断が難しい

【本日の内容】

① 鼻炎に使う薬について

② クスリを正しく使いましょう



市販で買える鼻炎薬

—セルフメディケーションは迷う？—

【かかりつけ薬局がない場合】
風邪が引いたから、近くのドラッグストアで風よめと解熱剤を
買ってきた。あと歯が痛いから、歯医者にいこうかな。
明日は整形外科に行って、関節痛の薬をもらうつもりだよ。
—ところで、全部飲んでも大丈夫かな—??



一般の人では判断
難しい部分がフォローできます

かかりつけ薬局を持ちましょう！

—説明書読んでいますか？—

一般用医薬品は「薬の説明書」を 読んで、正しい使い方をしましょう

1回の服用量はどれだけ
(何錠・カプセル何個)
服用すべきか？

服用時間は何時か？

使用上の注意点は何か？

副作用、相互作用には
どんなものがあるのか？



くすりの適正使用協議会

花粉症の時期を快適に過ごすために

大阪はびきの医療センター耳鼻咽喉科

川島佳代子

アレルギー性鼻炎には通年的に症状の現れる通年性アレルギー性鼻炎と季節的に症状の現れる季節性アレルギー性鼻炎がある。通年性アレルギー性鼻炎はダニ、動物の皮屑、昆虫などが原因であり、季節性アレルギー性鼻炎の原因は花粉である。花粉症の症状は通年性アレルギー性鼻炎症状のくしゃみ、鼻水、鼻づまりが三大症状以外に眼のかゆみ、充血、流涙といった眼症状を伴うことが知られている。

花粉症の診断においては、問診が大切で症状や罹病年数、アレルギー疾患の合併などについて詳細に聴取することが重要である。検査には血液検査または皮膚テストにて特異的IgE抗体検査を行う。その他、鼻での反応を確認するために、鼻汁好酸球検査やハウスダストのディスクでの鼻粘膜での反応性を確認する鼻誘発テストを行うこともある。

花粉症治療としては一般的に薬物療法が行われる。用いられる薬物には抗ヒスタミン薬、抗ロイコトリエン薬、鼻噴霧用ステロイド薬、血管収縮薬（点鼻薬）、抗アレルギー剤の点眼薬などである。抗ヒスタミン薬は、くしゃみ、鼻水、かゆみに効果があるが、眠気を生じる薬もある。市販されている花粉症薬には第一世代抗ヒスタミン薬が含有されていることが多く、眠気があり作業能率の低下をひきおこすことがある。また緑内障や前立腺肥大の方には禁忌となる場合があり注意が必要である。また抗ロイコトリエン薬は、鼻閉に主に用いられる薬剤で喘息にも効果が認められる。効果発現までに約1週間かかるとされており、継続して服用することが重要である。鼻噴霧用ステロイド薬はすべての症状に効果があり、全身的な副作用が少なく、長期的にも安全に使用できるとされている。また血管収縮薬が含有された点鼻薬は即効性があり患者が効果を実感できるが、連用するとリバウンドが起こりかえって鼻閉の増強をきたすとされている。花粉症に対しての薬物療法は、症状が軽いうちから薬剤の服用を行う初期療法が推奨されている。初期療法は花粉が飛散を開始する前後、もしくは症状は少しでも出現すれば薬剤を開始することが望まれる。

薬物療法以外の治療法として、最近注目されている治療法はアレルゲン免疫療法である。アレルゲン免疫療法はアレルギーの原因物質を体内に入れ、体を慣らすことで症状を和らげる治療法である。アレルゲン免疫療法の中でも、安全な投与方法とされる舌下免疫療法が、2014年に日本でも開始された。現在ではダニによる通年性アレルギー性鼻炎とスギ花粉症の患者に行われ普及しつつある。舌下免疫療法は、今まで行われてきた注射による皮下免疫療法と比較し、注射による痛みもなく安全性も高い。一方で、3年間は毎日継続する必要がある。効果が認められない患者も存在する。治療の特徴を理解し開始、継続することが重要である。花粉症患者において特に舌下免疫療法を勧めたい患者は、毎年症状が重症の患者、花粉症の薬で副作用を認める患者、毎年多数の薬剤を使用しないといけない患者などである。またスギ花粉症についてはスギ花粉飛散期に舌下免疫療法は開始できない。舌下免疫療法を開始する際には、血液検査もしくは皮膚テストでスギ花粉もしくはダニにアレルギーがあることを確認する必要がある。

その他の治療としては、重症患者に行う手術療法があり、日帰りで行うレーザー焼灼から、入院にて行う内視鏡手術までさまざまな方法がある。

これらの治療法とともに重要なのは、セルフケアを行い、花粉の飛散時期には飛散を避けるような対策が必要である。生活リズムを整え、睡眠や休養を十分にとることが勧められる。花粉症に対しては、これらのさまざまな治療法とセルフケアを花粉の飛散する前の時期より行うことで、花粉症シーズンを快適に過ごせるようにしたい。

新規入会者紹介

市谷留美

私は、市谷年弘会員の妻であると同時に、市谷地球環境研究室の事務員として会計と事務を担当しております。その一方で鳥取環境市民会員のメンバーとして海岸清掃や砂丘除草ボランティアとしても活動しております。当会としては花粉のスティドガラスの交換など主人のできないところを補っています。普段は農業法人で働いています。パパイヤ茶をつくって会社が特許をとりました。主人と二人三脚でがんばります！よろしくお願いたします。



市谷留美 (Ichitani Rumi)

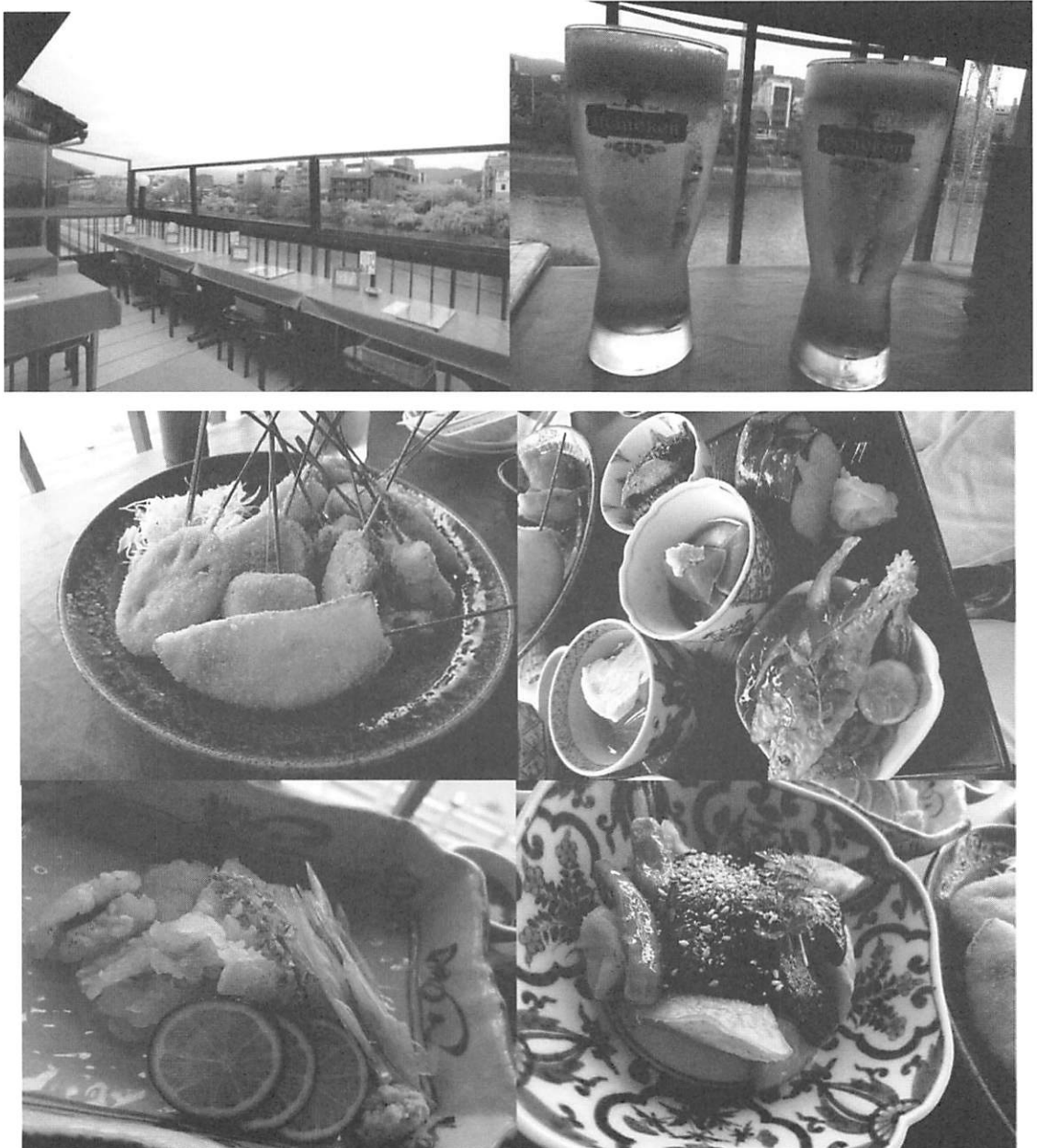
食べ歩き 第9回

紹介者：岡山県 藤木利之

昨年に引き続き、京都の食べ歩きをご紹介いたします。第二弾は先斗町です。先斗町は鴨川と木屋町通の間にある花街です。よくこの通りの界隈が先斗町という地名だと思っている方がおられますが、先斗町という町は存在しません。

先斗町は昼と夜の景観が全く違っており、やはり夜の街といった感じです。ここには紹介したいお店がたくさんありますが、今回は一つだけ。

さて、先斗町の鴨川側は5月から9月まで納涼床を楽しむことができるお店が並んでいますが、今回ご紹介するお店は「串エ門」です。テラスが常設され年中鴨川を眺めながらお食事ができるお店です。春先は等間隔に並んだ恋人同士を見ながらお酒を飲むこととなりますが・・・



串エ門の名物は串カツと季節のおぼんざいです。鯖寿司は脂がのった鯖が本当に美味しい一品です。その他、季節の料理が様々ありますが、夏の加茂茄子や万願寺唐辛子などの京野菜を使った料理や鰻の刺身などは是非お勧めしたい料理です。

清水さんなど東山のお寺めぐりをしてから、鴨川を眺めながら串カツと京都のおぼんざいに舌鼓。その後、夜の先斗町を三条通まで散策したら、鴨川に下りて川風を感じながら四条まで散歩するのはいかがでしょうか？

先斗町 串エ門 (ぼんとちょう くしえもん)

住所：〒604-8015 京都府京都市中京区先斗町通四条上ル鍋屋町227 紫光会館 2 F

TEL：075-221-6477

HP：<https://kushiemon.gorp.jp/>

必ず予約する方が無難です。午後4時から開店しています。桜や紅葉シーズンは、6時や7時からでは予約できない場合があります。

京都鴨川納涼床

<https://www.leafkyoto.net/special/yuka/>

中国・四国空中花粉研究会会則

1990年12月1日 制定

改正2006年1月1日

改正2008年1月1日

改正2014年1月1日

第1条：本会は中国・四国空中花粉研究会（Chugoku-Shikoku Airborne Pollen Society）と称する。

第2条：本会は空中飛散花粉の調査，観測，花粉学の研究，花粉症に関する調査研究，および一般住民に対して花粉症の予防，症状の軽減化を図るための情報提供などを行う。

第3条：本会の事業は次のとおりとする。

- 1) 各観測地点において決められた期間，主としてヒノキ科（スギ属・ヒノキ属）植物の空中飛散花粉の計測を行い，決められた時間に気象協会に報告し，気象協会において気象データおよび予報をもとに，翌日の飛散数の予測を各報道機関に予報として情報提供する。情報提供する報道機関については気象協会に一任する。
- 2) 会員は学術活動に心がけ，学会報告，論文発表，または花粉に関する正しい情報を一般に知らせる様にする。また，本会会員は学術活動に伴う資料として，本会の資料を用いる場合，あらかじめ当該資料の作成者に許諾を得ることとする。
- 3) 年1回会誌（中国・四国空中花粉研究会誌：Annual report of Chugoku-Shikoku Airborne pollen Society）を発行する。会誌はその年の花粉観測記録，その他花粉に関する研究，本会の資料をしようして行った発表，その他随筆，感想文等で会員相互の学術，親睦の記録とする。

第4条：本会員は次によって構成する。

- 1) 正会員：第3条の目的に賛同し活動する個人
- 2) 施設会員：飛散空中花粉の計測を行い，データを報告する。正会員1名以上が所属する必要がある。
- 3) 賛助会員：第3条の目的に賛同し，本会の活動を支援し，花粉のデータを会則に従って情報提供できる権利を持つ。新たに会員になる事を希望するものは，会員1名の推薦が必要であり代表者の承認が必要である。また，3年以上総会欠席または，連絡が取れない会員については，脱会を希望したものとして脱会をみとめる。

第5条：会の運営は会費と寄付金で行う。

- 1) 正会員会費：正会員からは会費を徴収しない。
- 2) 施設会員：年3000円とする。

3) 協賛会員：情報の利用度に応じ、一口20000円で最高10口を負担する。

本会の総会，各協議会参集時には別に，出席者に定められた額の旅費を支給する。

データを報告する施設会員には，毎年総会で決められた一定の花粉観測補助費を支給する。

第6条：本会は年2回総会を開催し，会務を審議決定する。総会の決議は出席全員の過半数による。代表が必要と認めた時は，臨時総会を開催できる。

第7条：本会に次の幹事，役員をおき，必要時に会の運営について協議し，総会に議案を提出する。

代表者，副代表，庶務担当幹事，書記担当幹事，会計担当幹事，編集委員長，各県より会員数に応じて1名から数名の県担当幹事，気象協会担当幹事および会計監査担当幹事1名の役員をおく。幹事，役員は総会において選出する。

会誌の係りにおいては補佐のため，編集委員を数名おくことが出来る。会計は年1回会計報告を行い，その収支を会員に報告する。

第8条：本会の幹事，役員の任期は1月1日より翌年12月31日までの2年とする。また改選時の再任はさまたげない。

第9条：会計報告は，1月1日より12月31日までとする。

附則

この会則は，1990年12月1日より施行する。

附則（2006年1月1日）

この会則は，2006年1月1日より施行する。

附則（2008年1月1日）

この会則は，2008年1月1日より施行する。

附則（2014年1月1日）

この会則は，2014年1月1日より施行する。

「中国・四国空中花粉研究会会誌」投稿規程

1. 本会の会員は「中国・四国空中花粉研究会誌」に投稿することができる。この場合、非会員との連名投稿も受理する。
2. 編集委員会から会員または非会員に投稿の依頼をすることができる。
3. 2. によらない非会員からの投稿があった場合は、編集委員会および幹事会にはかり受理の可否を決定する。
4. 投稿内容については特に規定しない。
5. 原稿はワープロソフト（ワード）を使用して横書きとする。ワードを使用する場合は、A4版白紙に印字した原稿（文字数行数は問わない）と、テキスト形式で保存したフロッピーディスク又はCD-Rなどのメディアとを同時に提出する。メールでの入行も可とするが、ワードで作成したファイルを添付し編集委員長に提出する。
6. 原稿には表題、著者名、所属、本文、引用文献を含むことを原則とする。
7. 表題・著者名ともに30字以内の柱（ランニング・タイトル：各ページ上部欄外の見出し）原稿を付ける。
8. 句読点は、ピリオド（. ）、カンマ（, ）とする。
9. 数字、英字は1マス2字（半角）、句読点、カッコ、:、;、などは1マス分（全角）とする。
10. 字体の種類は、次の要領で原稿に指定するか、ワードにて対応する書体で記述する。
 - ・イタリック体（生物・化石の学名など）：赤で1本の下線
 - ・小キャピタル（英字の人名など）：赤で2本の下線
 - ・ゴシック体：赤で破線の下線
11. 刷り上がりはA4版、本文は1段組とする。
12. 図、表、写真の大きさは、編集委員で決定するが、刷り上がり2ページ（見開き）を限度とする。図は黒インクまたはプリンター等で明瞭に書き、完成したものを提出するか、エクセル、パワーポイントにて作成したファイルをメールに添付して提出する。
13. 図、表、写真には番号だけを記入し、題名・説明文は、別の原稿用紙にまとめて記入する。または、エクセル、パワーポイントで作成したファイルを提出する場合、表は左上に、図は左下に番号とともに題名・説明文を記載する。
14. 原稿の欄外に、図・表・写真の挿入箇所を赤字で指定する。投稿者がレイアウト原稿を作成する必要はない。メールにて原稿ファイルを提出する場合、本文に赤字で図、表、写真の番号を加えて挿入する。

原稿送付先：〒700-0005 岡山市北区理大町1-1 岡山理科大学理学部

藤木利之 fujiki@das.ous.ac.jp

〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750-1 香川大学医学部

秋山貢佐 kakaka@med.kagawa-u.ac.jp

中国・四国空中花粉研究会 2018年度～ 役員

- 代表 : 秋山 貢佐 (香川大学医学部耳鼻咽喉科)
副代表 : 小林 隆一 (このはなクリニック)
会誌編集委員長 : 藤木 利之 (岡山理科大学理学部)
会誌編集副委員長 : 木村 裕子 (岡山理科大学理学部)
庶務・書記 : 小林 英治 (小林耳鼻咽喉科醫院)
会計 : 岡崎 彰徳 (備前市立日生病院)
会計監査 : 岡田 啓司 (アコブ東尾道薬局)
- 顧問 : 三好 教夫, 斉藤 勝剛, 岡 鍼雄, 唐木 将行, 岡野 光博
常任顧問 : 難波 弘行 (松山大学), 名部 誠 (矢掛町国民健康保険病院)

幹事

- 岡山県担当幹事 : 木村 裕子 (岡山理科大学理学部)
広島県担当幹事 : 岡田 啓司 (アコブ東尾道薬局)
鳥取県担当幹事 : 市谷 年弘 (市谷地球環境研究所)
山口県担当幹事 : 日吉 正明 (ひよしクリニック)
香川県担当幹事 : 小林 英治 (小林耳鼻咽喉科醫院)
愛媛県担当幹事 : 檜垣 義光 (今治空中花粉研究会)
高知県担当幹事 : 安田 律 (JA高知病院)
徳島県担当幹事 : 大林 秀樹 (ひかり薬局八万店)
気象協会四国地方担当幹事 : 樋口 宜寿 (一般財団法人日本気象協会東京本社)
気象協会中国地方担当幹事 : 森山 剛 (一般財団法人日本気象協会中国支店)

中国・四国空中花粉研究会誌 第29号 2018年12月1日

平成30年12月1日印刷・発行

編集 : 「中国・四国空中花粉研究会誌」編集委員会

発行 : 中国・四国空中花粉研究会

事務局 : 香川大学医学部

(〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750番地1 TEL : 087-891-2214)

庶務 : 香川大学医学部

(〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750番地1 TEL : 087-891-2214)

会計 : 備前市立日生病院

(〒701-3202 岡山県備前市日生町寒河2570-41 TEL : 0869-72-1111)

資料の部

(2018年1月～5月)

スギ・ヒノキ花粉実測数

- ・ 岡山県
- ・ 広島県
- ・ 島根県
- ・ 鳥取県
- ・ 山口県
- ・ 香川県
- ・ 愛媛県
- ・ 徳島県
- ・ 高知県

岡山県

【エンジェル薬局】花粉年表 2018年

※1cmあたりの花粉数(日付当日09時～翌日09時の24時間飛散数)

日	1月			2月			3月			4月			5月		
	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計
1				0.0	0.0	0.0	27.2	0.0	27.2	6.2	1459.8	1466.0	0.0	0.0	0.0
2				0.0	0.0	0.0	13.9	0.0	13.9	6.5	4431.1	4437.6	0.0	0.0	0.0
3				0.0	0.0	0.0	13.9	0.0	13.9			2575.3	0.0	0.0	0.0
4				0.0	0.0	0.0	13.9	0.0	13.9			1600.9	0.0	0.0	0.0
5				0.0	0.0	0.0	21.6	0.0	21.6	0.6	89.8	90.4	0.0	0.0	0.0
6				0.0	0.0	0.0	116.0	0.0	116.0	0.0	29.0	29.0	0.0	0.0	0.0
7				0.0	0.0	0.0	76.2	0.0	76.2	0.0	40.7	40.7	0.0	0.0	0.0
8				0.0	0.0	0.0	13.3	0.0	13.3	0.0	40.7	40.7	0.0	0.0	0.0
9				0.0	0.0	0.0	154.0	0.0	154.0	0.0	13.6	13.6			
10				0.0	0.0	0.0	120.1	0.0	120.1	0.0	41.4	41.4			
11				0.0	0.0	0.0	120.1	0.0	120.1	0.0	95.4	95.4			
12				0.0	0.0	0.0	172.8	0.0	172.8	0.0	52.2	52.2			
13				0.0	0.0	0.0	195.1	0.0	195.1	0.0	11.0	11.0			
14				0.0	0.0	0.0	162.0	0.0	162.0	0.0	11.0	11.0			
15				0.0	0.0	0.0	183.0	0.0	183.0	0.0	11.0	11.0			
16				0.3	0.0	0.3	91.9	0.0	91.9	0.0	1.2	1.2			
17				0.3	0.0	0.3	91.9	0.0	91.9	0.0	2.2	2.2			
18				0.0	0.0	0.0	91.9	0.0	91.9	0.0	2.2	2.2			
19				0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	2.5	0.0	1.9	1.9			
20				0.9	0.0	0.9	12.3	0.0	12.3	0.0	0.6	0.6			
21				0.0	0.0	0.0	12.3	0.0	12.3	0.0	0.0	0.0			
22				1.5	0.0	1.5	20.7	0.0	20.7	0.0	0.0	0.0			
23				2.5	0.0	2.5	93.5	0.0	93.5	0.0	0.0	0.0			
24				2.2	0.0	2.2	93.5	0.0	93.5	0.0	0.0	0.0			
25				2.2	0.0	2.2	45.7	0.6	46.3	0.0	0.0	0.0			
26				1.9	0.0	1.9	16.0	81.2	97.2	0.0	0.0	0.0			
27				8.0	0.0	8.0	8.0	189.8	197.8	0.0	0.0	0.0			
28				7.7	0.0	7.7	4.0	558.3	562.3	0.0	0.0	0.0			
29							3.1	2458.0	2461.1	0.0	0.0	0.0			
30							6.2	1459.8	1466.0	0.0	0.0	0.0			
31	0.0	0.0	0.0				6.2	1459.8	1466.0						
上旬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	570.1	0.0	570.1	13.3	6146.1	10335.6	0.0	0.0	0.0
中旬	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	1.5	1123.5	0.0	1123.5	0.0	188.7	188.7	0.0	0.0	0.0
下旬	0.0	0.0	0.0	26.0	0.0	26.0	309.2	6207.5	6516.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
月	0.0	0.0	0.0	27.5	0.0	27.5	2002.8	6207.5	8210.3	13.3	6334.8	10524.3	0.0	0.0	0.0

シーズン総飛散数

《特定期間》
(1月1日～5月10日)
18762.1
内訳 スギ
2043.6
内訳 ヒノキ
12542.3
《飛散開始日》
2月22日
《飛散終了日》
4月20日
《大量飛散日数》
(日飛散数30個/cm以上)
31日

斜字は、複数日の平均値
例 5.3

【こやま薬局江崎店】花粉年表 2018年

※1cmあたりの花粉数(日付当日09時～翌日09時の24時間飛散数)

日	1月			2月			3月			4月			5月		
	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計
1				0.0	0.0	0.0	31.1	0.0	31.1	0.9	103.3	104.2	0.0	0.2	0.2
2				0.0	0.0	0.0	13.1	0.0	13.1	0.9	103.3	104.2	0.0	0.2	0.2
3				0.0	0.0	0.0	58.7	0.0	58.7	0.6	72.8	73.4	0.0	0.2	0.2
4				0.0	0.0	0.0	58.7	0.0	58.7	4.1	59.2	63.3	0.0	0.2	0.2
5				0.0	0.0	0.0	6.6	0.0	6.6	4.1	59.2	63.3	0.0	0.2	0.2
6				0.0	0.0	0.0	24.7	0.0	24.7	2.2	39.7	41.9	0.0	0.2	0.2
7				0.0	0.0	0.0	9.8	0.0	9.8	0.2	5.6	5.8	0.0	0.0	0.0
8				0.0	0.0	0.0	9.8	0.0	9.8	0.2	5.6	5.8	0.0	0.0	0.0
9				0.0	0.0	0.0	7.5	0.0	7.5	0.0	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0
10				0.0	0.0	0.0	21.2	0.0	21.2	0.3	8.4	8.7	0.0	0.0	0.0
11				0.0	0.0	0.0	21.2	0.0	21.2	0.3	57.3	57.6			
12				0.0	0.0	0.0	13.4	0.0	13.4	0.3	57.3	57.6			
13				0.0	0.0	0.0	64.0	0.0	64.0	0.0	106.6	106.6			
14				0.3	0.0	0.3	112.8	0.0	112.8	0.0	14.8	14.8			
15				0.3	0.0	0.3	112.8	0.0	112.8	0.0	14.8	14.8			
16				0.3	0.0	0.3	28.7	0.0	28.7	0.0	17.8	17.8			
17				0.5	0.0	0.5	29.2	0.5	29.7	0.0	54.3	54.3			
18				0.5	0.0	0.5	29.2	0.5	29.7	0.0	54.3	54.3			
19				0.3	0.0	0.3	5.3	0.0	5.3	0.0	54.3	54.3			
20				0.6	0.0	0.6	2.8	0.3	3.1	0.0	19.0	19.0			
21				0.0	0.0	0.0	2.8	0.3	3.1	0.0	21.4	21.4			
22				0.0	0.0	0.0	2.8	0.3	3.1	0.0	21.4	21.4			
23				1.6	0.0	1.6	16.3	2.2	18.5	0.0	15.0	15.0			
24				0.9	0.0	0.9	10.1	61.9	72.0	0.0	8.6	8.6			
25				0.9	0.0	0.9	10.1	61.9	72.0	0.0	8.6	8.6			
26				1.6	0.0	1.6	3.1	46.5	49.6	0.0	8.6	8.6			
27				8.4	0.0	8.4	3.7	92.5	96.2	0.0	6.6	6.6			
28				31.1	0.0	31.1	17.7	332.2	349.9	0.0	1.8	1.8			
29							17.7	332.2	349.9	0.0	1.8	1.8			
30							5.3	384.7	390.0	0.0	1.8	1.8			
31	0.0	0.0	0.0				0.9	103.3	104.2						
上旬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	241.2	0.0	241.2	13.5	463.0	476.5	0.0	1.2	1.2
中旬	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	2.8	419.4	1.3	420.7	0.6	450.5	451.1	0.0	0.0	0.0
下旬	0.0	0.0	0.0	44.5	0.0	44.5	90.5	1418.0	1508.5	0.0	95.6	95.6	0.0	0.0	0.0
月	0.0	0.0	0.0	47.3	0.0	47.3	751.1	1419.3	2170.4	14.1	1009.1	1023.2	0.0	1.2	1.2

シーズン総飛散数

《特定期間》
(1月1日～5月10日)
3242.1
内訳 スギ
812.5
内訳 ヒノキ
2429.6
《飛散開始日》
2月26日
《飛散終了日》
5月6日
《大量飛散日数》
(日飛散数30個/cm以上)
27日

斜字は、複数日の平均値
例 5.3

【なでしこ薬局】花粉年表 2018年

※1cmあたりの花粉数(日付当日09時~翌日09時の24時間飛散数)

日	1月			2月			3月			4月			5月		
	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計
1				0.0	0.0	0.0	12.0	0.0	12.0	46.3	2410.5	2456.8	0.0	0.0	0.0
2				0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	18.2	36.2	2361.0	2397.2	0.0	0.0	0.0
3				0.2	0.0	0.2	46.3	0.0	46.3	10.4	2594.0	2604.4	0.0	0.0	0.0
4				0.2	0.0	0.2	46.3	0.0	46.3	24.7	1787.0	1811.7	0.0	0.0	0.0
5				0.0	0.0	0.0	6.5	0.0	6.5	2.5	83.3	85.8	0.0	0.0	0.0
6				0.0	0.0	0.0	44.1	0.0	44.1	0.0	21.9	21.9	0.0	0.0	0.0
7				0.0	0.0	0.0	82.7	0.0	82.7	2.6	26.5	29.1	0.0	0.0	0.0
8				0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	2.5	2.6	26.5	29.1	0.0	0.0	0.0
9				0.0	0.0	0.0	28.7	0.0	28.7	0.0	8.6	8.6	0.0	0.0	0.0
10				0.0	0.0	0.0	64.2	0.0	64.2	0.0	35.4	35.4	0.0	0.0	0.0
11				0.0	0.0	0.0	64.2	0.0	64.2	2.5	86.1	88.6			
12				0.0	0.0	0.0	144.4	0.0	144.4	1.5	100.9	102.4			
13				0.0	0.0	0.0	171.6	0.0	171.6	0.0	54.3	54.3			
14				0.3	0.0	0.3	293.2	0.0	293.2	0.0	30.2	30.2			
15				0.3	0.0	0.3	203.7	0.0	203.7	0.0	30.2	30.2			
16				0.3	0.0	0.3	24.4	0.0	24.4	0.0	4.0	4.0			
17				0.0	0.0	0.0	69.4	0.0	69.4	0.0	4.0	4.0			
18				0.0	0.0	0.0	69.4	0.0	69.4	0.0	4.6	4.6			
19				0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	1.2	0.0	4.0	4.0			
20				0.9	0.0	0.9	10.0	0.0	10.0	0.0	11.4	11.4			
21				0.3	0.0	0.3	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0			
22				0.9	0.0	0.9	20.4	0.0	20.4	0.0	0.0	0.0			
23				0.9	0.0	0.9	93.8	0.0	93.8	0.0	0.0	0.0			
24				0.2	0.0	0.2	179.0	13.9	192.9	0.0	0.0	0.0			
25				0.2	0.0	0.2	179.0	13.9	192.9	0.0	0.0	0.0			
26				0.6	0.0	0.6	138.9	15.2	154.1	0.0	0.0	0.0			
27				4.0	0.0	4.0	340.1	15.0	355.1	0.0	0.0	0.0			
28				10.2	0.0	10.2	129.6	552.5	682.1	0.0	0.0	0.0			
29							131.2	3419.8	3551.0	0.0	0.0	0.0			
30							21.6	760.2	781.8	0.0	0.0	0.0			
31	0.0	0.0	0.0				46.3	2410.5	2456.8						
上旬	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.4	351.5	0.0	351.5	125.3	9354.7	9480.0	0.0	0.0	0.0
中旬	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	1.8	1051.5	0.0	1051.5	4.0	329.7	333.7	0.0	0.0	0.0
下旬	0.0	0.0	0.0	17.3	0.0	17.3	1289.9	7201.0	8490.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
月	0.0	0.0	0.0	19.5	0.0	19.5	2692.9	7201.0	9893.9	129.3	9684.4	9813.7	0.0	0.0	0.0

シーズン総飛散数

《特定期間》
(1月1日~5月10日)
19727.1
内訳 スギ 2841.7
内訳 ヒノキ 16885.4
《飛散開始日》
2月27日
《飛散終了日》
4月20日
《大量飛散日数》
(日飛散数30個/cm以上)
32日

斜字は、複数日の平均値
例 5.3

【岡山医学検査センター】花粉年表 2018年

※1cmあたりの花粉数(日付当日09時~翌日09時の24時間飛散数)

日	1月			2月			3月			4月			5月		
	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計
1				0.0			26.7		26.7			105.7			0.3
2				0.0			8.3		8.3			91.4			0.0
3				0.0			57.3		57.3			62.3			0.0
4				0.0			57.3		57.3			102.5			0.0
5				0.0			7.1		7.1			76.2			0.0
6				0.0			54.6		54.6			62.0			0.0
7				0.0			40.1		40.1			16.0			0.0
8				0.0			1.9		1.9			16.0			0.0
9				0.0			22.5		22.5			8.0			0.0
10				0.1			22.9		22.9			65.4			0.0
11				0.1			22.9		22.9			4.6			0.0
12				0.1			28.4		28.4			45.7			0.0
13				0.0			29.3		29.3			9.3			0.0
14				0.0			50.9		50.9			18.5			0.0
15				0.3			185.2		185.2			18.5			0.0
16				0.0			40.1		40.1			54.9			0.0
17				0.0			31.3		31.3			88.8			0.0
18				0.0			31.3		31.3			38.9			0.0
19				0.0			7.7		7.7			47.5			0.0
20				0.0			7.1		7.1			9.9			0.0
21				0.0			7.1		7.1			13.8			0.0
22				0.6			11.4		11.4			13.8			0.0
23				4.9			8.6		8.6			6.2			0.0
24				2.2			28.1		28.1			4.9			0.0
25				2.2			28.1		28.1			3.1			0.0
26				1.2			24.7		24.7			0.9			0.0
27				11.1			52.4		52.4			0.6			0.0
28				30.9			48.8		48.8			0.3			0.0
29							67.9		67.9			0.3			0.0
30							155.1		155.1			0.3			0.0
31				0.0			105.7		105.7						0.0
上旬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	298.7	0.0	298.7	0.0	0.0	605.5	0.0	0.0	0.3
中旬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	434.2	0.0	434.2	0.0	0.0	336.6	0.0	0.0	0.0
下旬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	537.9	0.0	537.9	0.0	0.0	44.2	0.0	0.0	0.0
月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	53.7	0.0	53.7	0.0	0.0	986.3	0.0	0.0	0.3

シーズン総飛散数

《特定期間》
(1月1日~5月10日)
2311.1
内訳 スギ 0.0
内訳 ヒノキ 0.0
《飛散開始日》
2月23日
《飛散終了日》
5月1日
《大量飛散日数》
(日飛散数30個/cm以上)
27日

斜字は、複数日の平均値
例 5.3

【矢掛町国保病院】花粉年表 2018年

※1cm²あたりの花粉数(日付当日09時～翌日09時の24時間飛散数)

日	1月			2月			3月			4月			5月		
	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計
1				0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7	4.9	69.4	74.3	0.0	0.0	0.0
2				0.1	0.0	0.1	22.6	0.0	22.6	0.9	73.8	74.7	0.0	0.0	0.0
3				0.1	0.0	0.1	22.6	0.0	22.6	0.6	37.0	37.6	0.0	0.0	0.0
4				0.1	0.0	0.1	22.6	0.0	22.6	0.9	35.5	36.4	0.0	0.0	0.0
5				0.0	0.0	0.0	15.7	0.0	15.7	2.2	25.3	27.5	0.0	0.0	0.0
6				0.0	0.0	0.0	18.5	0.0	18.5	2.5	18.8	21.3	0.0	0.0	0.0
7				0.0	0.0	0.0	13.9	0.0	13.9	0.3	2.2	2.5	0.0	0.0	0.0
8				0.0	0.0	0.0	18.6	0.0	18.6	0.3	3.1	3.4	0.0	0.0	0.0
9				0.0	0.0	0.0	18.6	0.0	18.6	0.3	2.4	2.7	0.0	0.0	0.0
10				0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	4.0	0.0	10.5	10.5	0.0	0.0	0.0
11				0.0	0.0	0.0	21.3	0.0	21.3	0.3	16.0	16.3	0.0	0.0	0.0
12				0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	18.2	0.3	14.2	14.5	0.0	0.0	0.0
13				0.3	0.0	0.3	38.6	0.0	38.6	0.1	20.7	20.8	0.0	0.0	0.0
14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.4	0.3	20.7	0.1	20.7	20.8	0.0	0.0	0.3
15	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.6	0.0	80.6	0.1	20.7	20.8	0.0	0.0	0.0
16	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	4.0	0.0	4.0	0.0	15.4	15.4	0.0	0.3	0.3
17	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	23.8	0.0	23.8	0.0	36.4	36.4	0.0	0.0	0.0
18	0.3	0.0	0.3	0.2	0.0	0.2	23.8	0.0	23.8	0.0	13.4	13.4	0.0	0.0	0.0
19	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.6	0.0	13.4	13.4	0.0	0.0	0.0
20	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.0	0.0	9.0	0.0	6.2	6.2	0.0	0.0	0.0
21	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	1.9	0.0	6.2	6.2	0.0	0.0	0.0
22	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	1.2	15.4	0.0	15.4	0.0	6.2	6.2			
23	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0	0.3	12.3	0.0	1.9	1.9			
24	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	1.9	18.4	12.8	31.2	0.0	1.9	1.9			
25	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.6	18.4	12.8	31.2	0.0	2.2	2.2			
26	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	1.2	7.4	38.3	45.7	0.0	0.3	0.3			
27	0.0	0.0	0.0	10.5	0.0	10.5	4.0	36.1	40.1	0.3	5.9	6.2			
28	0.0	0.0	0.0	14.8	0.0	14.8	1.5	192.3	193.8	0.0	1.2	1.2			
29	0.0	0.0	0.0				25.6	304.0	329.6	0.0	1.2	1.2			
30	0.0	0.0	0.0				4.6	273.4	278.0	0.0	1.2	1.2			
31	0.0	0.0	0.0				17.2	59.0	76.2						
上旬	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	164.8	0.0	164.8	12.9	278.0	290.9	0.0	0.0	0.0
中旬	0.3	0.0	0.3	1.0	0.0	1.0	240.3	0.3	240.6	0.9	177.1	178.0	0.0	0.6	0.6
下旬	0.0	0.0	0.0	30.2	0.0	30.2	126.4	929.0	1055.4	0.3	28.2	28.5	0.0	0.0	0.0
月	0.3	0.0	0.3	31.5	0.0	31.5	531.5	929.3	1460.8	14.1	483.3	497.4	0.0	0.6	0.6

シーズン総飛散数

《特定期間》
(1月1日～5月10日)
1990.6
内訳 スギ
577.4
内訳 ヒノキ
1413.2
《飛散開始日》
2月26日
《飛散終了日》
4月30日
《大量飛散日数》
(日飛散数30個/cm²以上)
15日

斜字は、複数日の平均値
例 5.3

広島県

【たかの橋中央病院】花粉年表 2018年

※1cmあたりの花粉数(日付当日09時～翌日09時の24時間飛散数)

日	1月			2月			3月			4月			5月		
	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計
1				0.0	0.0	0.0	26.5	0.0	26.5	2.5	45.4	47.9	0.0	0.3	0.3
2				0.0	0.0	0.0	21.3	0.0	21.3	0.9	46.0	46.9	0.0	0.1	0.1
3				0.0	0.0	0.0	34.1	0.0	34.1	1.2	21.6	22.8	0.0	0.1	0.1
4				0.0	0.0	0.0	34.1	0.0	34.1	3.1	42.6	45.7	0.0	0.1	0.1
5				0.0	0.0	0.0	33.6	0.0	33.6	1.5	11.1	12.6	0.0	0.1	0.1
6				0.0	0.0	0.0	95.7	0.0	95.7	6.5	27.8	34.3	0.0	0.1	0.1
7				0.0	0.0	0.0	77.8	0.0	77.8	0.3	2.9	3.2	0.0	0.0	0.0
8				0.0	0.0	0.0	39.2	0.0	39.2	0.3	2.9	3.2	0.0	0.0	0.0
9				0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	18.2	0.6	3.4	4.0	0.0	0.6	0.6
10				0.0	0.0	0.0	35.5	0.0	35.5	0.6	5.9	6.5	0.0	0.0	0.0
11				0.0	0.0	0.0	35.5	0.0	35.5	0.0	4.0	4.0			
12				0.0	0.0	0.0	16.0	0.0	16.0	0.0	11.7	11.7			
13				0.0	0.0	0.0	23.5	0.0	23.5	1.2	32.1	33.3			
14				0.9	0.0	0.9	7.4	0.0	7.4	0.2	4.3	4.5			
15				0.3	0.0	0.3	19.1	0.0	19.1	0.2	4.3	4.5			
16				0.3	0.0	0.3	25.6	0.0	25.6	0.0	2.2	2.2			
17				0.3	0.0	0.3	6.3	0.5	6.8	0.3	4.0	4.3			
18				0.3	0.0	0.3	6.3	0.5	6.8	0.0	1.2	1.2			
19				0.0	0.0	0.0	0.9	0.3	1.2	0.0	1.5	1.5			
20				0.9	0.0	0.9	4.9	0.0	4.9	0.0	1.2	1.2			
21				0.0	0.0	0.0	4.9	0.0	4.9	0.0	0.6	0.6			
22				0.3	0.0	0.3	11.4	0.0	11.4	0.0	0.6	0.6			
23				1.2	0.0	1.2	17.0	0.0	17.0	0.0	0.6	0.6			
24				4.9	0.0	4.9	26.1	4.2	30.3	0.0	7.1	7.1			
25				4.9	0.0	4.9	26.1	4.2	30.3	0.0	0.3	0.3			
26				3.7	0.0	3.7	20.7	11.1	31.8	0.0	0.6	0.6			
27				15.4	0.0	15.4	11.4	81.2	92.6	0.0	0.3	0.3			
28				28.1	0.0	28.1	65.4	8.3	73.7	0.0	0.2	0.2			
29							13.6	460.2	473.8	0.0	0.2	0.2			
30							14.2	232.4	246.6	0.0	0.2	0.2			
31	0.0	0.0	0.0				2.5	45.4	47.9						
上旬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	416.0	0.0	416.0	17.5	209.6	227.1	0.0	1.4	1.4
中旬	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	3.0	145.5	1.3	146.8	1.9	66.5	68.4	0.0	0.0	0.0
下旬	0.0	0.0	0.0	58.5	0.0	58.5	213.3	847.0	1060.3	0.0	10.7	10.7	0.0	0.0	0.0
月	0.0	0.0	0.0	61.5	0.0	61.5	774.8	848.3	1623.1	19.4	286.8	306.2	0.0	1.4	1.4

シーズン総飛散数

《特定期間》
(1月1日～5月10日)
1992.2

内訳 スギ
855.7

内訳 ヒノキ
1136.5

《飛散開始日》
2月23日

《飛散終了日》
5月6日

《大量飛散日数》
(日飛散数30個/cm以上)
21日

斜字は、複数日の平均値
例 5.3

【みやの耳鼻咽喉科】花粉年表 2018年

※1cmあたりの花粉数(日付当日09時～翌日09時の24時間飛散数)

日	1月			2月			3月			4月			5月		
	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計
1				0.0	0.0	0.0	141.0	0.0	141.0	6.5	26.2	32.7	0.0	0.0	0.0
2				0.0	0.0	0.0	24.7	0.0	24.7	5.2	34.0	39.2	0.0	0.2	0.2
3				0.0	0.0	0.0	47.7	0.0	47.7	2.8	26.5	29.3	0.0	0.2	0.2
4				0.0	0.0	0.0	47.7	0.0	47.7	1.9	32.1	34.0	0.0	0.2	0.2
5				0.0	0.0	0.0	14.5	0.0	14.5	13.0	47.8	60.8	0.0	0.2	0.2
6				0.0	0.0	0.0	113.6	0.0	113.6	6.2	17.6	23.8	0.0	0.2	0.2
7				0.0	0.0	0.0	63.0	0.0	63.0	1.4	3.7	5.1	0.0	0.0	0.0
8				0.0	0.0	0.0	8.0	0.0	8.0	1.4	3.7	5.1	0.0	0.0	0.0
9				0.0	0.0	0.0	106.2	0.0	106.2	0.9	1.9	2.8	0.0	0.0	0.0
10				0.0	0.0	0.0	49.7	0.0	49.7	3.7	10.2	13.9	0.0	0.0	0.0
11				0.0	0.0	0.0	49.7	0.0	49.7	1.5	14.5	16.0			
12				0.0	0.0	0.0	17.6	0.0	17.6	0.6	6.2	6.8			
13				0.0	0.0	0.0	60.5	0.0	60.5	0.9	27.8	28.7			
14				1.9	0.0	1.9	26.2	0.0	26.2	0.5	2.6	3.1			
15				0.3	0.0	0.3	156.8	0.0	156.8	0.5	2.6	3.1			
16				0.3	0.0	0.3	61.4	0.0	61.4	0.0	2.2	2.2			
17				0.6	0.0	0.6	62.0	0.0	62.0	0.6	2.8	3.4			
18				0.6	0.0	0.6	62.0	0.0	62.0	0.0	2.8	2.8			
19				0.3	0.0	0.3	0.6	0.0	0.6	0.0	1.9	1.9			
20				3.1	0.0	3.1	8.0	0.0	8.0	0.3	1.2	1.5			
21				1.2	0.0	1.2	8.0	0.0	8.0	0.0	2.0	2.0			
22				1.5	0.0	1.5	31.2	0.0	31.2	0.0	2.0	2.0			
23				4.3	0.0	4.3	11.4	0.3	11.7	0.3	1.9	2.2			
24				11.9	0.0	11.9	41.7	5.4	47.1	0.3	0.3	0.6			
25				11.9	0.0	11.9	41.7	5.4	47.1	0.0	0.6	0.6			
26				15.4	0.0	15.4	8.6	3.1	11.7	0.0	0.3	0.3			
27				42.0	0.0	42.0	18.5	9.0	27.5	0.0	0.3	0.3			
28				93.5	0.0	93.5	18.2	46.9	65.1	0.0	0.3	0.3			
29							25.6	124.1	149.7	0.0	0.3	0.3			
30							51.2	214.2	265.4	0.0	0.3	0.3			
31	0.0	0.0	0.0				6.5	26.2	32.7						
上旬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	616.1	0.0	616.1	43.0	203.7	246.7	0.0	1.0	1.0
中旬	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1	504.8	0.0	504.8	4.9	64.6	69.5	0.0	0.0	0.0
下旬	0.0	0.0	0.0	181.7	0.0	181.7	262.6	434.6	697.2	0.6	8.3	8.9	0.0	0.0	0.0
月	0.0	0.0	0.0	188.8	0.0	188.8	1383.5	434.6	1818.1	48.5	276.6	325.1	0.0	1.0	1.0

シーズン総飛散数

《特定期間》
(1月1日～5月10日)
2333.0

内訳 スギ
1620.8

内訳 ヒノキ
712.2

《飛散開始日》
2月20日

《飛散終了日》
5月6日

《大量飛散日数》
(日飛散数30個/cm以上)
26日

斜字は、複数日の平均値
例 5.3

【安芸太田病院】花粉年表 2018年

※1cm²あたりの花粉数(日付当日09時～翌日09時の24時間飛散数)

日	1月			2月			3月			4月			5月		
	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計
1						0.0			101.2			1513.0			0.9
2						0.0			7.1			2075.0			0.7
3						0.0			48.6			1350.6			0.7
4						0.0			48.6			932.1			0.7
5						0.0			6.5			250.9			0.7
6						0.0			75.0			91.7			0.7
7						0.0			174.1			13.3			0.3
8						0.0			17.0			13.3			0.0
9						0.0			87.3			4.0			0.0
10						0.5			57.1			110.2			0.0
11						0.5			57.1			66.7			
12						0.5			330.6			44.8			
13						0.0			706.2			34.0			
14						0.6			359.0			10.5			
15						0.0			373.1			10.5			
16						0.3			181.2			3.7			
17						0.9			259.7			1.9			
18						0.9			259.7			10.5			
19						0.0			4.6			17.0			
20						0.6			20.2			4.6			
21						0.6			20.2			13.3			
22						1.9			131.2			13.3			
23						2.2			89.5			3.1			
24						4.0			166.2			0.7			
25						4.0			166.2			0.6			
26						11.7			200.6			1.9			
27						9.0			262.7			4.6			
28						11.4			487.7			1.4			
29									469.1			1.4			
30									1065.1			1.4			
31									1513.0						
上旬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	622.5	0.0	0.0	6354.1	0.0	0.0	4.7
中旬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	2551.4	0.0	0.0	204.2	0.0	0.0	0.0
下旬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	44.8	0.0	0.0	4571.5	0.0	0.0	41.7	0.0	0.0	0.0
月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	49.6	0.0	0.0	7745.4	0.0	0.0	6600.0	0.0	0.0	4.7

シーズン総飛散数

《特定期間》
(1月1日～5月10日)
14399.7
内訳 スギ
0.0
内訳 ヒノキ
0.0
《飛散開始日》
2月22日
《飛散終了日》
5月7日
《大量飛散日数》
(日飛散数30個/cm²以上)
35日

斜字は、複数日の平均値
例 5.3

【気象協会中国支店】花粉年表 2018年

※1cm²あたりの花粉数(日付当日09時～翌日09時の24時間飛散数)

日	1月			2月			3月			4月			5月		
	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計
1				0.0	0.0	0.0	91.7	0.0	91.7	3.1	109.3	112.4	0.0	0.0	0.0
2				0.0	0.0	0.0	51.9	0.0	51.9	3.4	123.1	126.5	0.0	0.0	0.0
3				0.0	0.0	0.0	13.9	0.0	13.9	1.5	89.2	90.7	0.0	0.0	0.0
4				0.0	0.0	0.0	237.0	0.0	237.0	3.4	100.3	103.7	0.0	0.0	0.0
5				0.0	0.0	0.0	51.5	0.0	51.5	0.0	15.1	15.1	0.0	0.0	0.0
6				0.0	0.0	0.0	220.1	0.0	220.1	3.7	29.6	33.3	0.0	0.0	0.0
7				0.0	0.0	0.0	103.4	0.0	103.4	1.9	11.4	13.3	0.0	0.0	0.0
8				0.0	0.0	0.0	55.6	0.0	55.6	0.6	4.0	4.6	0.0	0.0	0.0
9				0.0	0.0	0.0	54.3	0.0	54.3	0.3	5.2	5.5	0.0	0.0	0.0
10				0.0	0.0	0.0	83.6	0.0	83.6	0.9	18.5	19.4	0.0	0.0	0.0
11				0.0	0.0	0.0	83.9	0.0	83.9	0.0	9.3	9.3			
12				0.0	0.0	0.0	45.1	0.0	45.1	1.5	24.1	25.6			
13				0.0	0.0	0.0	40.1	0.3	40.4	3.1	48.8	51.9			
14				1.2	0.0	1.2	32.4	0.0	32.4	0.6	4.9	5.5			
15				0.3	0.0	0.3	32.1	0.0	32.1	0.6	3.1	3.7			
16				0.9	0.0	0.9	31.5	0.0	31.5	2.5	25.3	27.8			
17				0.3	0.0	0.3	25.9	0.3	26.1	0.3	1.9	2.2			
18				0.0	0.0	0.0	3.1	0.3	3.4	0.3	3.7	4.0			
19				0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	3.7	0.3	9.9	10.2			
20				1.9	0.0	1.9	6.5	0.0	6.5	0.3	12.0	12.3			
21				0.9	0.0	0.9	0.0	0.3	0.3	欠測	欠測	欠測			
22				0.3	0.0	0.3	31.8	0.3	32.1	0.0	0.9	0.9			
23				1.9	0.0	1.9	16.0	2.8	18.8	0.0	1.9	1.9			
24				5.6	0.0	5.6	5.6	155.8	161.4	0.0	0.9	0.9			
25				8.6	0.0	8.6	9.9	40.7	50.6	0.0	0.3	0.3			
26	0.0	0.0	0.0	8.6	0.0	8.6	11.1	116.7	127.8	0.0	0.6	0.6			
27	0.0	0.0	0.0	40.7	0.0	40.7	3.1	226.5	229.6	0.0	0.3	0.3			
28	0.0	0.0	0.0	37.7	0.0	37.7	3.1	364.5	367.6	0.0	0.6	0.6			
29	0.0	0.0	0.0				18.2	1034.6	1052.8	0.0	0.3	0.3			
30	0.0	0.0	0.0				7.7	1210.2	1217.9	0.0	0.0	0.0			
31	0.0	0.0	0.0				1.2	105.2	106.4						
上旬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	963.0	0.0	963.0	18.8	505.7	524.5	0.0	0.0	0.0
中旬	0.0	0.0	0.0	4.6	0.0	4.6	304.3	0.9	305.1	9.5	143.0	152.5	0.0	0.0	0.0
下旬	0.0	0.0	0.0	104.3	0.0	104.3	107.7	3257.6	3365.3	0.0	5.8	5.8	0.0	0.0	0.0
月	0.0	0.0	0.0	108.9	0.0	108.9	1375.0	3258.5	4633.4	28.3	654.5	682.8	0.0	0.0	0.0

シーズン総飛散数

《特定期間》
(1月1日～5月10日)
5425.1
内訳 スギ
1512.2
内訳 ヒノキ
3913.0
《飛散開始日》
2月23日
《飛散終了日》
4月29日
《大量飛散日数》
(日飛散数30個/cm²以上)
32日

斜字は、複数日の平均値
例 5.3

【三次地区医師会】花粉年表 2018年

※1cm²あたりの花粉数(日付当日09時～翌日09時の24時間飛散数)

日	1月			2月			3月			4月			5月		
	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計
1						0.0			44.4			982.7			1.9
2						0.0			20.7			965.1			0.4
3						0.0			23.0			588.0			0.4
4						0.0			23.0			463.3			0.4
5						0.0			0.9			107.4			0.4
6						0.0			43.2			88.9			0.4
7						0.0			113.0			73.3			0.0
8						0.0			13.9			73.3			0.0
9						0.0			139.2			3.7			0.0
10						0.0			95.7			35.8			0.0
11						0.0			95.7			18.5			
12						0.0			285.5			8.0			
13						0.0			444.1			39.2			
14						0.0			175.9			12.5			
15						0.0			76.2			12.5			
16						0.9			88.6			3.4			
17						0.0			32.1			4.0			
18						0.0			32.1			2.8			
19						0.6			0.3			6.5			
20						0.9			17.7			6.8			
21						2.8			17.7			3.9			
22						0.3			31.8			3.9			
23						5.2			28.7			4.9			
24						2.6			78.5			0.0			
25						2.6			78.5			0.3			
26						6.8			177.8			1.9			
27						12.0			258.3			2.8			
28						4.0			427.2			1.4			
29									1307.4			1.4			
30									468.8			1.4			
31			0.0						982.7						
上旬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	517.0	0.0	0.0	3381.5	0.0	0.0	3.9
中旬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	1248.2	0.0	0.0	114.2	0.0	0.0	0.0
下旬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.3	0.0	0.0	3857.4	0.0	0.0	21.9	0.0	0.0	0.0
月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	38.7	0.0	0.0	5622.6	0.0	0.0	3517.6	0.0	0.0	3.9

シーズン総飛散数

《特定期間》
(1月1日～5月10日)
9182.8
内訳 スギ
0.0
内訳 ヒノキ
0.0
《飛散開始日》
2月23日
《飛散終了日》
5月6日
《大量飛散日数》
(日飛散数30個/cm²以上)
32日

斜字は、複数日の平均値
例 5.3

【福山臨床検査センター福山本社】花粉年表 2018年

※1cm²あたりの花粉数(日付当日09時～翌日09時の24時間飛散数)

日	1月			2月			3月			4月			5月		
	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計
1						0.0			264.8			161.7			0.3
2						0.0			25.6			60.8			0.3
3						0.0			9.0			90.7			0.6
4						0.0			33.0			127.2			0.3
5						0.0			5.6			72.5			0.9
6						0.0			75.0			29.4			1.2
7						0.0			67.6			65.1			0.0
8						0.0			9.0			15.7			0.0
9						0.0			112.3			17.0			0.0
10						0.0			24.7			6.5			0.0
11						0.0			120.1			3.1			
12						0.0			27.2			7.4			
13						0.0			97.2			8.8			
14						0.3			54.0			1.2			
15						0.0			134.4			8.0			
16						0.3			30.3			11.7			
17						0.0			34.0			3.4			
18						0.6			46.6			7.7			
19						0.0			2.8			16.4			
20						0.0			42.2			3.1			
21						0.0			10.2			6.5			
22						0.9			34.9			1.5			
23						0.9			23.1			2.5			
24						2.5			57.8			1.3			
25						2.8			75.0			0.9			
26						8.6			44.4			0.6			
27						58.0			157.7			0.3			
28						129.3			304.6			0.0			
29									427.2			0.9			
30									600.3			0.3			
31									96.6						
上旬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	626.6	0.0	0.0	646.6	0.0	0.0	3.6
中旬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	588.8	0.0	0.0	70.8	0.0	0.0	0.0
下旬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	203.0	0.0	0.0	1831.8	0.0	0.0	14.8	0.0	0.0	0.0
月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	204.2	0.0	0.0	3047.2	0.0	0.0	732.2	0.0	0.0	3.6

シーズン総飛散数

《特定期間》
(1月1日～5月10日)
3987.2
内訳 スギ
0.0
内訳 ヒノキ
0.0
《飛散開始日》
2月24日
《飛散終了日》
5月6日
《大量飛散日数》
(日飛散数30個/cm²以上)
30日

斜字は、複数日の平均値
例 5.3

島根県

【雲南市】花粉年表 2017年

※1cmあたりの花粉数(日付当日09時～翌日09時の24時間飛散数)

日	1月			2月			3月			4月			5月		
	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計
1				0.0	0.0	0.0	32.0	0.0	32.0	4.0	895.0	899.0	0.0	4.0	4.0
2				0.0	0.0	0.0	19.0	0.0	19.0	3.0	276.0	279.0	0.0	3.0	3.0
3				0.0	0.0	0.0	101.0	0.0	101.0	2.0	117.0	119.0	0.0	5.0	5.0
4				0.0	0.0	0.0	634.0	0.0	634.0	0.0	21.0	21.0	0.0	2.0	2.0
5				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	47.0	49.0	0.0	1.0	1.0
6				0.0	0.0	0.0	44.0	0.0	44.0	0.0	13.0	13.0	0.0	0.6	0.6
7				0.0	0.0	0.0	156.0	0.0	156.0	0.0	11.0	11.0	0.0	0.0	0.0
8				0.0	0.0	0.0	26.0	0.0	26.0	0.0	14.0	14.0	0.0	0.0	0.0
9				0.0	0.0	0.0	18.0	0.0	18.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0
10				0.0	0.0	0.0	12.0	0.0	12.0	0.0	76.0	76.0	0.0	0.0	0.0
11				0.0	0.0	0.0	78.0	0.0	78.0	0.0	55.0	55.0			
12				0.0	0.0	0.0	56.0	0.0	56.0	0.0	28.0	28.0			
13				0.0	0.0	0.0	498.0	0.0	498.0	0.0	31.0	31.0			
14				0.0	0.0	0.0	179.0	0.0	179.0	0.0	62.0	62.0			
15				0.0	0.0	0.0	268.0	0.0	268.0	0.0	12.0	12.0			
16				0.0	0.0	0.0	18.0	0.0	18.0	0.0	10.0	10.0			
17				0.0	0.0	0.0	24.0	0.0	24.0	0.0	22.0	22.0			
18				0.0	0.0	0.0	85.0	0.0	85.0	0.0	45.0	45.0			
19				0.0	0.0	0.0	12.0	0.0	12.0	0.0	26.0	26.0			
20				0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	4.0	0.0	17.0	17.0			
21				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.0	28.0			
22				0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0	13.0	13.0			
23				0.3	0.0	0.3	12.0	0.0	12.0	0.0	9.0	9.0			
24				0.0	0.0	0.0	88.0	0.0	88.0	0.0	2.0	2.0			
25				0.3	0.0	0.3	231.0	0.0	231.0	0.0	5.0	5.0			
26				0.3	0.0	0.3	58.0	10.0	68.0	0.0	16.0	16.0			
27				11.0	0.0	11.0	53.0	187.0	240.0	0.0	18.0	18.0			
28				0.6	0.0	0.6	415.0	570.0	985.0	0.0	15.0	15.0			
29							141.0	1020.0	1161.0	0.0	14.0	14.0			
30							16.0	309.0	325.0	0.0	6.0	6.0			
31	0.0	0.0	0.0				19.0	862.0	881.0						
上旬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1042.0	0.0	1042.0	11.0	1480.0	1491.0	0.0	15.6	15.6
中旬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1222.0	0.0	1222.0	0.0	308.0	308.0	0.0	0.0	0.0
下旬	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	1034.0	2958.0	3992.0	0.0	126.0	126.0	0.0	0.0	0.0
月	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	3298.0	2958.0	6256.0	11.0	1914.0	1925.0	0.0	15.6	15.6

シーズン総飛散数

《特定期間》

(1月1日～5月10日)

8209.1

内訳 スギ

3321.5

内訳 ヒノキ

4887.6

《飛散開始日》

3月1日

《飛散終了日》

5月6日

《大量飛散日数》

(日飛散数30個/cm以上)

28日

斜字は、複数日の平均値

例 5.3

鳥取県

【地球環境研究所】花粉年表 2018年

※1cm²あたりの花粉数(日付当日09時～翌日09時の24時間飛散数)

日	1月			2月			3月			4月			5月		
	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計
1				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.2	30.2			
2				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.5	14.5			
3				0.0	0.0	0.0	6.5	0.0	6.5	0.0	9.0	9.0			
4				0.0	0.0	0.0	63.6	0.0	63.6	0.0	0.9	0.9			
5				0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.6	0.3	7.7	8.0			
6				0.3	0.0	0.3	0.6	0.0	0.6	0.0	4.0	4.0			
7				0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	5.6	0.0	0.9	0.9			
8				0.3	0.0	0.3	0.6	0.0	0.6	0.0	1.8	1.8			
9				0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0	6.5	6.5			
10				0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0	3.7	3.7			
11				0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	3.4	0.0	1.5	1.5			
12				0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0			
13				0.0	0.0	0.0	45.1	0.0	45.1	0.0	0.3	0.3			
14				0.0	0.0	0.0	17.0	0.0	17.0	0.0	3.1	3.1			
15				0.0	0.0	0.0	25.3	0.0	25.3	0.0	0.0	0.0			
16				0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	1.2						
17				0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	3.7						
18				0.0	0.0	0.0	6.8	0.0	6.8						
19				0.0	0.0	0.0	4.6	0.0	4.6						
20				0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	2.2						
21				0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	1.2						
22				0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.6						
23				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
24				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
25				0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.6						
26				0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	4.0						
27				0.3	0.0	0.3	0.3	11.7	12.0						
28				2.2	0.0	2.2	0.0	17.6	17.6						
29							0.0	23.5	23.5						
30							0.0	7.1	7.1						
31	0.0	0.0	0.0				0.3	4.9	5.2						
上旬	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.6	78.1	0.0	78.1	0.3	79.2	79.5	0.0	0.0	0.0
中旬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	114.9	0.0	114.9	0.0	4.9	4.9	0.0	0.0	0.0
下旬	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	2.5	2.7	69.1	71.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
月	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	3.1	195.7	69.1	264.8	0.3	84.1	84.4	0.0	0.0	0.0

シーズン総飛散数

《特定期間》

(1月1日～5月10日)

352.3

内訳 スギ

199.1

内訳 ヒノキ

153.2

《飛散開始日》

3月3日

《飛散終了日》

4月15日(観測終了日)

《大量飛散日数》

(日飛散数30個/cm²以上)

3日

斜字は、複数日の平均値

例 5.3

山口県

【ひよしクリニック】花粉年表 2018年

※1cm²あたりの花粉数(日付当日09時～翌日09時の24時間飛散数)

日	1月			2月			3月			4月			5月		
	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計
1				0.0	0.0	0.0	86.7	0.0	86.7	3.0	163.0	166.0	0.0	0.0	0.0
2				0.0	0.0	0.0	44.8	0.0	44.8	1.9	81.2	83.1	0.0	0.0	0.0
3				0.0	0.0	0.0	34.3	0.0	34.3	0.9	34.3	35.2	0.0	0.0	0.0
4				0.0	0.0	0.0	34.6	0.0	34.6	0.0	55.2	55.2	0.0	0.0	0.0
5				0.0	0.0	0.0	50.6	0.0	50.6	0.6	22.2	22.8	0.0	0.0	0.0
6				0.0	0.0	0.0	821.3	0.0	821.3	1.2	5.2	6.4	0.0	0.0	0.0
7				0.0	0.0	0.0	309.9	0.0	309.9	0.0	1.5	1.5	0.0	0.0	0.0
8				0.0	0.0	0.0	9.0	0.0	9.0	0.0	1.5	1.5	0.0	0.0	0.0
9				0.0	0.0	0.0	100.9	0.0	100.9	0.0	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0
10				0.0	0.0	0.0	67.6	0.0	67.6	0.6	2.8	3.4	0.0	0.0	0.0
11				0.0	0.0	0.0	16.4	0.0	16.4	0.0	1.9	1.9			
12				0.0	0.0	0.0	26.2	0.0	26.2	0.3	7.4	7.7			
13				0.0	0.0	0.0	52.2	0.0	52.2	0.6	34.6	35.2			
14				0.9	0.0	0.9	20.1	0.0	20.1	0.0	0.3	0.3			
15				0.0	0.0	0.0	22.8	3.1	25.9	0.0	0.3	0.3			
16				2.5	0.0	2.5	21.9	1.9	23.8	0.0	1.5	1.5			
17				2.2	0.0	2.2	12.0	1.1	13.1	0.0	0.9	0.9			
18				0.3	0.0	0.3	12.0	1.1	13.1	0.0	3.1	3.1			
19				0.3	0.0	0.3	3.7	0.3	4.0	0.0	11.7	11.7			
20				2.5	0.0	2.5	0.6	12.3	12.9	0.0	0.1	0.1			
21				2.2	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1			
22				4.0	0.0	4.0	3.7	0.0	3.7	0.0	0.1	0.1			
23				11.1	0.0	11.1	3.4	2.5	5.9	0.0	0.0	0.0			
24				24.7	0.0	24.7	2.6	69.3	71.9	0.0	0.0	0.0			
25				3.1	0.0	3.1	2.6	69.3	71.9	0.0	0.0	0.0			
26				19.8	0.0	19.8	2.5	91.4	93.9	0.0	0.0	0.0			
27				111.4	0.0	111.4	0.6	97.5	98.1	0.0	0.0	0.0			
28				93.5	0.0	93.5	1.5	192.6	194.1	0.0	0.0	0.0			
29							6.5	652.5	659.0	0.0	0.0	0.0			
30							33.3	1767.6	1800.9	0.0	0.0	0.0			
31	0.0	0.0	0.0				3.0	163.0	166.0						
上旬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1559.7	0.0	1559.7	8.2	367.2	375.4	0.0	0.0	0.0
中旬	0.0	0.0	0.0	8.7	0.0	8.7	187.9	19.8	207.7	0.9	61.8	62.7	0.0	0.0	0.0
下旬	0.0	0.0	0.0	269.8	0.0	269.8	59.7	3105.7	3165.4	0.0	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0
月	0.0	0.0	0.0	278.5	0.0	278.5	1807.3	3125.5	4932.8	9.1	429.2	438.3	0.0	0.0	0.0

シーズン総飛散数

《特定期間》

(1月1日～5月10日)

5649.6

内訳 スギ

2094.9

内訳 ヒノキ

3554.7

《飛散開始日》

2月20日

《飛散終了日》

4月22日

《大量飛散日数》

(日飛散数30個/cm²以上)

25日

斜字は、複数日の平均値

例 5.3

【坂出市立病院】花粉年表 2018年

※1cmあたりの花粉数(日付当日09時～翌日09時の24時間飛散数)

日	1月			2月			3月			4月			5月		
	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計
1				0.0	0.0	0.0	110.2	0.0	110.2	12.0	32.1	44.1	0.0	0.0	0.0
2				0.0	0.0	0.0	115.1	0.0	115.1	4.0	16.7	20.7	0.0	0.1	0.1
3				0.0	0.0	0.0	115.1	0.0	115.1	1.5	3.7	5.2	0.0	0.1	0.1
4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	115.1	0.0	115.1	3.4	24.4	27.8	0.0	0.1	0.1
5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26.2	0.0	26.2	3.4	26.9	30.3	0.0	0.1	0.1
6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	58.3	0.0	58.3	0.6	10.0	10.6	0.0	0.1	0.1
7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3	0.0	83.3	0.6	10.0	10.6			
8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	0.6	10.0	10.6			
9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	59.7	0.0	59.7	0.9	3.1	4.0			
10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	59.7	0.0	59.7	0.9	1.9	2.8			
11	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	59.7	0.0	59.7	0.0	6.2	6.2			
12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.2	0.0	42.2	0.0	4.6	4.6			
13	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	190.4	0.0	190.4	0.0	1.4	1.4			
14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	286.4	0.0	286.4	0.0	1.4	1.4			
15	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	289.2	0.0	289.2	0.0	1.4	1.4			
16	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	93.9	0.0	93.9	0.0	1.5	1.5			
17	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	93.9	0.0	93.9	0.0	0.6	0.6			
18	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	93.9	0.0	93.9	0.0	0.3	0.3			
19	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.2	0.0	6.2	0.0	0.3	0.3			
20	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0			
21	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	6.3	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0			
22	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.2	0.0	14.2	0.0	0.0	0.0			
23	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	2.6	93.2	0.0	93.2	0.0	0.3	0.3			
24	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	2.6	93.2	0.0	93.2	0.0	0.6	0.6			
25	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	2.6	93.2	0.0	93.2	0.0	0.0	0.0			
26	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	1.5	40.4	41.9	0.0	0.0	0.0			
27	0.0	0.0	0.0	48.1	0.0	48.1	7.7	13.0	20.7	0.0	0.2	0.2			
28	0.0	0.0	0.0	96.6	0.0	96.6	9.6	25.0	34.6	0.0	0.2	0.2			
29	0.0	0.0	0.0				13.3	11.1	24.4	0.0	0.2	0.2			
30	0.0	0.0	0.0				12.0	32.1	44.1	0.0	0.2	0.2			
31	0.0	0.0	0.0				12.0	32.1	44.1						
上旬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	751.0	0.0	751.0	27.9	138.8	166.7	0.0	0.5	0.5
中旬	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.6	1162.1	0.0	1162.1	0.0	17.7	17.7	0.0	0.0	0.0
下旬	0.0	0.0	0.0	153.1	0.0	153.1	356.2	153.7	509.9	0.0	1.7	1.7	0.0	0.0	0.0
月	0.0	0.0	0.0	153.7	0.0	153.7	2269.3	153.7	2423.0	27.9	158.2	186.1	0.0	0.5	0.5

シーズン総飛散数

《特定期間》
(1月1日～5月10日)
2763.3
内訳 スギ
2450.9
内訳 ヒノキ
312.4
《飛散開始日》
2月23日
《飛散終了日》
5月6日(観測終了日)
《大量飛散日数》
(日飛散数30個/cm以上)
27日

斜字は、複数日の平均値
例 5.3

【小林耳鼻咽喉科】花粉年表 2018年

※1cmあたりの花粉数(日付当日09時～翌日09時の24時間飛散数)

日	1月			2月			3月			4月			5月		
	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計
1				0.0	0.0	0.0	34.0	0.0	34.0	5.3	199.4	204.7	0.0	0.0	0.0
2				0.0	0.0	0.0	10.8	0.0	10.8	3.1	171.9	175.0	0.2	0.7	0.9
3				0.0	0.0	0.0	176.7	0.0	176.7	5.9	176.2	182.1	0.2	0.7	0.9
4	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	176.7	0.0	176.7	4.9	113.3	118.2	0.2	0.7	0.9
5	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	9.6	59.3	68.9	0.2	0.7	0.9
6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	182.1	0.0	182.1	5.9	74.1	80.0	0.2	0.7	0.9
7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.6	0.0	83.6	0.6	7.1	7.7	0.0	0.0	0.0
8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	3.4	0.6	7.1	7.7	0.0	0.0	0.0
9	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	9.6	0.0	9.6	1.2	3.7	4.9	0.0	0.0	0.0
10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	0.0	27.3	4.3	93.8	98.1	0.0	0.0	0.0
11	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	0.0	27.3	1.2	95.1	96.3			
12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.1	0.0	15.1	0.3	62.0	62.3			
13	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	103.7	0.0	103.7	1.5	34.3	35.8			
14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	149.4	0.0	149.4	1.7	42.3	44.0			
15	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	334.6	0.0	334.6	1.7	42.3	44.0			
16	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.9	41.0	0.3	41.3	0.6	0.3	0.9			
17	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	50.5	0.0	50.5	0.3	6.8	7.1			
18	0.3	0.0	0.3	0.2	0.0	0.2	50.5	0.0	50.5	2.8	31.8	34.6			
19	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.0	0.6	9.6	0.6	17.6	18.2			
20	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	4.2	0.3	4.5	0.3	5.9	6.2			
21	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	4.2	0.3	4.5	0.0	4.6	4.6			
22	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	4.9	0.0	4.9	0.0	4.6	4.6			
23	0.3	0.0	0.3	0.3	0.0	0.3	31.8	0.3	32.1	0.6	9.0	9.6			
24	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.8	30.7	27.3	58.0	0.0	9.3	9.3			
25	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.8	30.7	27.3	58.0	0.3	1.5	1.8			
26	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.6	109.6	57.4	167.0	0.6	0.3	0.9			
27	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	191.7	86.7	278.4	0.0	1.5	1.5			
28	0.0	0.0	0.0	197.8	0.0	197.8	71.3	376.9	448.2	0.0	0.7	0.7			
29	0.0	0.0	0.0				22.2	512.3	534.5	0.0	0.7	0.7			
30	0.0	0.0	0.0				38.9	1020.0	1058.9	0.0	0.7	0.7			
31	0.0	0.0	0.0				5.3	199.4	204.7						
上旬	0.6	0.0	0.6	0.3	0.0	0.3	737.5	0.0	737.5	41.4	905.9	947.3	1.0	3.5	4.5
中旬	0.3	0.0	0.3	2.2	0.0	2.2	785.3	1.2	786.5	11.0	338.4	349.4	0.0	0.0	0.0
下旬	0.3	0.0	0.3	225.9	0.0	225.9	541.3	2307.9	2849.2	1.5	32.9	34.4	0.0	0.0	0.0
月	1.2	0.0	1.2	228.4	0.0	228.4	2064.1	2309.1	4373.2	53.9	1277.2	1331.1	1.0	3.5	4.5

シーズン総飛散数

《特定期間》
(1月1日～5月10日)
5938.4
内訳 スギ
2348.6
内訳 ヒノキ
3589.8
《飛散開始日》
2月27日
《飛散終了日》
5月6日
《大量飛散日数》
(日飛散数30個/cm以上)
35日

斜字は、複数日の平均値
例 5.3

【福山臨床検査センター高松支所】花粉年表 2018年

※1cm²あたりの花粉数(日付当日09時～翌日09時の24時間飛散数)

日	1月			2月			3月			4月			5月		
	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計
1						0.0			130.9			226.0			4.3
2						0.0			12.8			235.7			0.6
3						0.0			196.8			134.0			0.6
4			0.0			0.0			196.8			228.9			0.6
5			0.0			0.0			65.9			184.6			0.6
6			0.0			0.0			109.4			104.8			0.2
7			0.0			0.0			138.3			11.0			0.3
8			0.0			0.0			5.6			11.0			0.0
9			0.2			0.0			15.4			10.0			0.3
10			0.2			0.0			45.3			100.3			0.3
11			0.3			0.0			45.3			36.7			
12			0.0			0.0			24.4			37.4			
13			0.0			0.0			205.1			59.3			
14			0.0			0.2			203.6			19.1			
15			0.0			0.3			281.0			19.1			
16			0.0			0.9			22.8			12.5			
17			0.0			0.5			117.4			19.4			
18			0.0			0.5			117.4			10.8			
19			0.0			0.3			6.2			6.5			
20			0.0			0.2			12.0			2.8			
21			0.0			0.3			12.0			5.3			
22			0.0			0.6			7.4			5.3			
23			0.3			6.2			37.4			3.7			
24			0.2			2.9			105.3			2.8			
25			0.2			2.9			105.3			1.9			
26			0.0			1.2			162.0			0.5			
27			0.0			73.0			373.5			1.2			
28			0.0			256.2			412.0			1.4			
29			0.0						559.1			1.4			
30			0.0						587.8			1.4			
31			0.0						226.0						
上旬	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	917.2	0.0	0.0	1246.3	0.0	0.0	7.8
中旬	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	1035.2	0.0	0.0	223.6	0.0	0.0	0.0
下旬	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	343.3	0.0	0.0	2587.8	0.0	0.0	24.9	0.0	0.0	0.0
月	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	346.2	0.0	0.0	4540.2	0.0	0.0	1494.8	0.0	0.0	7.8

シーズン総飛散数

《特定期間》

(1月1日～5月10日)

6390.4

内訳 スギ

0.0

内訳 ヒノキ

0.0

《飛散開始日》

2月23日

《飛散終了日》

5月10日(観測終了日)

《大量飛散日数》

(日飛散数30個/cm²以上)

34日

斜字は、複数日の平均値

例 5.3

徳島県

【徳島大学医学部】花粉年表 2018年

※1cm²あたりの花粉数(日付当日09時～翌日09時の24時間飛散数)

日	1月			2月			3月			4月			5月		
	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計
1				0.0	0.0	0.0	162.0	0.0	162.0	10.8	155.2	166.0	0.3	0.6	0.9
2				0.0	0.0	0.0	35.5	0.0	35.5	6.2	221.3	227.5	0.0	1.9	1.9
3				0.2	0.0	0.2	132.7	0.0	132.7	10.5	166.4	176.9	1.5	2.5	4.0
4				0.0	0.0	0.0	128.4	0.0	128.4	8.0	110.8	118.8	0.3	1.5	1.8
5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	24.7	0.0	24.7	10.8	77.2	88.0	0.0	0.3	0.3
6	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	207.1	0.0	207.1	13.6	103.4	117.0	0.0	0.6	0.6
7	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	59.9	0.0	59.9	13.0	77.5	90.5			
8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	1.9	8.6	16.4	25.0			
9	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	44.4	0.0	44.4	3.7	5.9	9.6			
10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	69.8	0.0	69.8	4.0	37.7	41.7			
11	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	77.8	0.0	77.8	4.0	38.0	42.0			
12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	109.9	0.0	109.9	2.8	55.9	58.7			
13	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	314.8	0.0	314.8	4.6	43.8	48.4			
14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	317.3	0.3	317.6	4.3	43.2	47.5			
15	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	378.7	1.5	380.2	0.6	11.4	12.0			
16	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	3.2	67.9	1.5	69.4	0.0	4.3	4.3			
17	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	2.3	141.5	0.8	142.3	0.9	15.1	16.0			
18	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	141.5	0.8	142.3	0.3	31.2	31.5			
19	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	3.4	1.9	8.0	9.9			
20	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	3.7	0.9	11.7	12.6			
21	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	1.2	0.9	0.0	0.9	0.0	8.0	8.0			
22	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	4.0	26.5	1.2	27.7	0.9	2.2	3.1			
23	0.2	0.0	0.2	5.2	0.0	5.2	46.9	1.2	48.1	1.5	4.9	6.4			
24	0.5	0.0	0.5	6.2	0.0	6.2	101.5	22.5	124.0	0.9	0.9	1.8			
25	0.2	0.0	0.2	2.8	0.0	2.8	36.4	105.9	142.3	0.0	5.2	5.2			
26	0.2	0.0	0.2	4.3	0.0	4.3	29.9	195.1	225.0	0.3	0.3	0.6			
27	0.0	0.0	0.0	67.9	0.0	67.9	91.0	228.1	319.1	0.9	4.9	5.8			
28	0.2	0.0	0.2	59.3	0.0	59.3	34.9	353.1	388.0	0.0	1.5	1.5			
29	0.2	0.0	0.2				23.5	736.1	759.6	0.6	5.9	6.5			
30	0.0	0.0	0.0				53.1	928.4	981.5	0.0	0.3	0.3			
31	0.0	0.0	0.0				34.6	308.6	343.2						
上旬	0.2	0.0	0.2	0.6	0.0	0.6	866.4	0.0	866.4	89.2	971.8	1061.0	2.1	7.4	9.5
中旬	0.0	0.0	0.0	5.7	0.0	5.7	1556.5	4.9	1561.4	20.3	262.6	282.9	0.0	0.0	0.0
下旬	1.5	0.0	1.5	150.9	0.0	150.9	479.2	2880.2	3359.4	5.1	34.1	39.2	0.0	0.0	0.0
月	1.7	0.0	1.7	157.2	0.0	157.2	2902.1	2885.1	5787.2	114.6	1268.5	1383.1	2.1	7.4	9.5

シーズン総飛散数

(特定期間)
(1月1日～5月10日)

7338.7

内訳 スギ

3177.7

内訳 ヒノキ

4161.0

(飛散開始日)

2月16日

(飛散終了日)

5月6日(観測終了日)

(大量飛散日数)

(日飛散数30個/cm²以上)

40日

斜字は、複数日の平均値

例 5.3

高知県

【J A 高知病院】花粉年表 2018年

※1cm²あたりの花粉数(日付当日09時～翌日09時の24時間飛散数)

日	1月			2月			3月			4月			5月		
	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計	スギ	ヒノキ	合計
1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	140.4	0.0	140.4	16.7	46.6	63.3	0.0	0.0	0.0
2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	71.9	0.0	71.9	9.3	119.8	129.0	0.0	0.0	0.0
3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	5.9	47.8	53.7	1.0	0.0	1.0
4	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	0.3	0.0	0.3	13.3	87.0	100.3	0.0	0.0	0.0
5	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	1.2	153.1	0.0	153.1	5.2	10.2	15.4			
6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	241.0	0.0	241.0	6.5	40.4	46.9			
7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	93.8	0.0	93.8	8.0	17.6	25.6			
8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	56.5	0.0	56.5	4.6	19.1	23.7			
9	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	102.8	0.0	102.8	1.5	6.5	8.0			
10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	164.5	0.0	164.5	1.2	0.9	2.2			
11	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	164.5	0.0	164.5	2.2	18.5	20.7			
12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	39.2	0.0	39.2	5.6	35.2	40.7			
13	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	15.4	0.0	15.4	6.8	17.6	24.4			
14	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	8.3	0.0	8.3	6.8	17.6	24.4			
15	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	4.0	6.8	17.6	24.4			
16	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	41.4	0.0	41.4	0.0	1.9	1.9			
17	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	4.3	33.3	0.0	33.3	0.9	2.8	3.7			
18	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	3.7	1.2	0.0	1.2	0.3	0.6	0.9			
19	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	2.5	7.1	3.1	10.2	0.3	2.8	3.1			
20	0.0	0.0	0.0	6.2	0.0	6.2	0.9	0.3	1.2	0.6	2.5	3.1			
21	0.0	0.0	0.0	12.0	0.0	12.0	2.8	0.0	2.8	0.3	0.3	0.6			
22	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1	25.9	1.5	27.4	0.0	0.0	0.0			
23	0.0	0.0	0.0	12.0	0.0	12.0	57.7	496.9	554.6	0.0	0.0	0.0			
24	0.3	0.0	0.3	40.7	0.0	40.7	30.2	90.7	120.9	0.0	0.3	0.3			
25	0.0	0.0	0.0	20.7	0.0	20.7	25.6	211.7	237.3	0.0	1.2	1.2			
26	0.0	0.0	0.0	36.7	0.0	36.7	11.7	262.7	274.4	0.0	0.0	0.0			
27	0.6	0.0	0.6	72.5	0.0	72.5	7.4	176.2	183.6	0.3	0.3	0.6			
28	0.6	0.0	0.6	135.8	0.0	135.8	10.8	117.6	128.4	0.0	1.5	1.5			
29	1.0	0.0	1.0				103.4	1139.8	1243.2	0.0	0.3	0.3			
30	0.0	0.0	0.0				30.2	208.0	238.3	0.0	0.3	0.3			
31	0.0	0.0	0.0				15.1	115.4	130.6						
上旬	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	1.8	1035.4	0.0	1035.4	72.2	395.9	468.1	1.0	0.0	1.0
中旬	0.0	0.0	0.0	17.3	0.0	17.3	315.3	3.4	318.7	30.3	117.1	147.3	0.0	0.0	0.0
下旬	2.5	0.0	2.5	337.5	0.0	337.5	320.8	2820.5	3141.5	0.6	4.2	4.8	0.0	0.0	0.0
月	2.5	0.0	2.5	356.6	0.0	356.6	1671.5	2823.9	4495.6	103.1	517.2	620.2	1.0	0.0	1.0

シーズン総飛散数

《特定期間》

(1月1日～5月10日)

5475.9

内訳 スギ

2134.7

内訳 ヒノキ

3341.1

《飛散開始日》

2月17日

《飛散終了日》

5月3日

《大量飛散日数》

(日飛散数30個/cm²以上)

31日

斜字は、複数日の平均値

例 5.3



生きる喜びを、もっと

Do more, feel better, live longer.

GSKIは、より多くの人々に
「生きる喜びを、もっと」を届けることを
存在意義とする科学に根差した
グローバルヘルスケアカンパニーです。

<http://jp.gsk.com>

グラクソ・スミスクライン株式会社

減感作療法薬 (アレルゲン免疫療法薬)

アシテア[®] ダニ舌下錠

100単位 (IR) / 300単位 (IR)

Actair 処方箋医薬品⁽¹⁾
注1) 注意-医師等の処方箋により使用すること

薬価基準収載

「効能・効果」, 「用法・用量」, 「警告・禁忌を含む使用上の注意」等
については添付文書をご参照ください。

提携
STALLERGENES GREER

製造販売元【資料請求先】
シオノギ製薬
大阪市中央区道徳町3-1-8
医薬情報センター ☎0120-956-734

ACT-KO-0001 (V01) 審302175 2016年12月作成

®: 登録商標

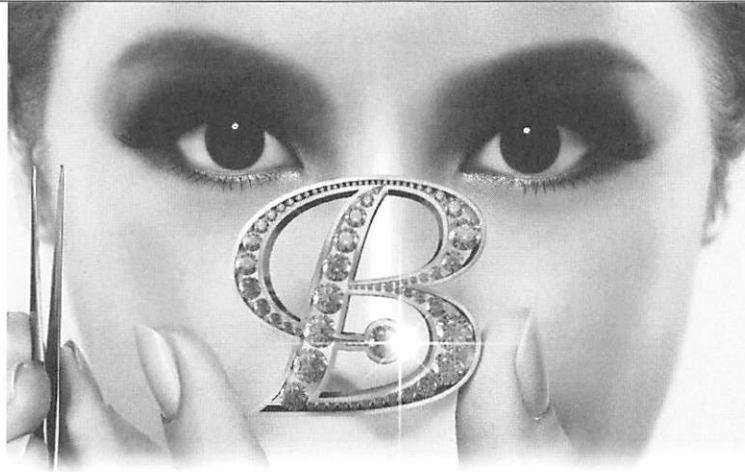


私たちは人びとの健康を高め
満ち足りた笑顔あふれる
社会づくりに貢献します。

 大鵬薬品

<https://www.taiho.co.jp>

明日をもっとすこやかに
meiji



アレルギー性疾患治療剤
処方箋医薬品(注意-医師等の処方箋により使用すること) 薬価基準収載

B ビラノア錠 20mg
Bilanoa® tablet 20mg ビラスチン錠

【効能・効果】、【用法・用量】、【禁忌を含む使用上の注意】等については添付文書をご参照ください。

販売元
Meiji Seika ファルマ株式会社
東京都中央区京橋 2-4-16
<http://www.meiji-seika-pharma.co.jp/>




製造販売元
大鵬薬品工業株式会社
東京都千代田区神田錦町1-27

提携先  **FAES FARMA** スペイン

作成：2018.1

THE KAITEKI COMPANY
三菱ケミカルホールディングスグループ

 田辺三菱製薬

この手で、
未来を。

感じる 描く 動かす

創る 育てる 届ける

そして 抱きしめる

健康で長生きできる未来を

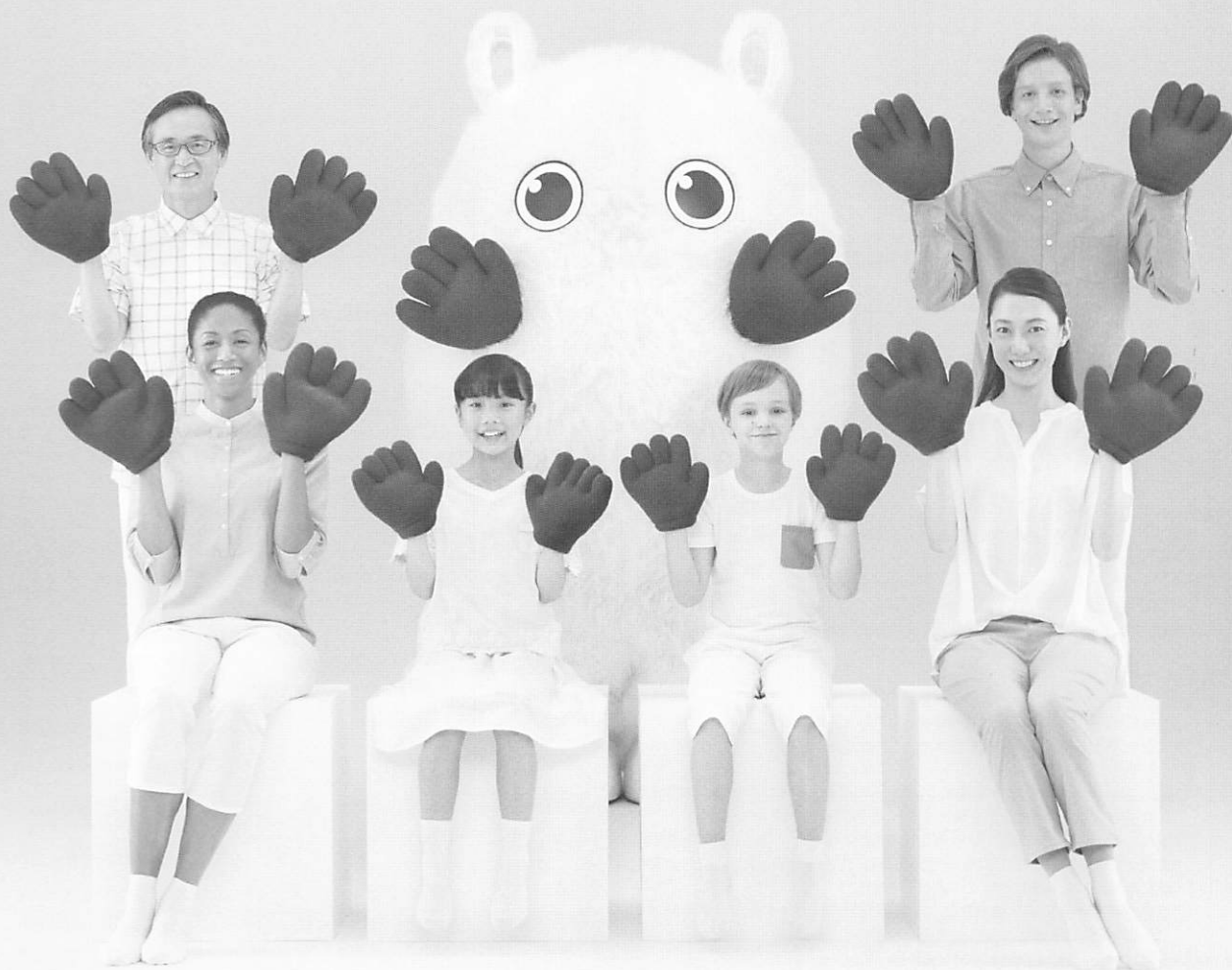
病とその不安を乗り越える未来を

理想のその先にある未来を

一人ひとりの手で

みんなの手で

希望を信じるこの手で



田辺三菱製薬のシンボルマークは手のひらをモチーフにしています。

www.mt-pharma.co.jp

Powderという選択。



禁忌(次の患者には投与しないこと)

1. 有効な抗菌剤の存在しない感染症、全身の真菌症の患者
[症状を増悪するおそれがある。]
2. 本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者

■効能・効果

アレルギー性鼻炎

■用法・用量

通常、成人には1日1回、各鼻腔に1噴霧ずつ(1噴霧あたりデキサメタゾンシベシルエステルとして200 μ g)投与する。

<用法・用量に関連する使用上の注意>

本剤の十分な臨床効果を得るためには継続的に使用すること。

■使用上の注意

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- (1) 鼻咽頭感染症の患者 [症状を増悪するおそれがある。]
- (2) 反復性鼻出血の患者 [出血を増悪するおそれがある。]

2. 重要な基本的注意

- (1) 重症な肥厚性鼻炎や鼻茸の患者では、本剤の鼻腔内での作用を確実にするため、これらの症状がある程度減少するよう他の療法を併用するとよい。
- (2) 本剤の投与期間中に鼻症状の悪化がみられた場合には、抗ヒスタミン剤等の抗アレルギー剤あるいは、全身性ステロイド剤を短期間併用し、症状の軽減にあわせて併用薬剤を徐々に減量すること。
- (3) 通年性の患者において長期に使用する場合は、症状の改善状態が持続するようであれば、本剤の減量又は休薬につとめること。
- (4) 本剤投与後、全身性ステロイド剤を減量する場合は、本剤の噴霧開始後症状の安定をみて徐々に減量にあたっては一般のステロイド剤の減量法に準ずる。
- (5) 長期又は大量の全身性ステロイド療法を受けている患者では副腎皮質機能不全が考えられるので、本剤投与後、全身性ステロイド剤を減量あるいは離脱する場合、減量中並びに離脱後も副腎皮質機能検査を行い、外傷、手術、重症感染症等の侵襲には十分に注意を払うこと。

(6) 本剤投与後、全身性ステロイド剤を減量あるいは離脱する場合、気管支喘息、ときに湿疹、蕁麻疹、眩暈、動悸、倦怠感、顔のほてり、結膜炎等の症状が発現・増悪することがある(このような症状があらわれた場合には適切な処置を行うこと)。

3. 副作用

アレルギー性鼻炎患者を対象とした臨床試験において、総症例523例中34例(6.5%)に副作用が報告された。

主な副作用は、鼻部不快感3例(0.6%)、咽頭不快感3例(0.6%)であった。また、511例中に認められた副作用としての臨床検査値の異常変動は、ALT(GPT)上昇6例(1.2%)等であった。(エリザスカプセル外用400 μ g承認時)

(1) 重大な副作用(頻度)

アナフィラキシー:他のコルチコステロイド点鼻薬の使用後に、アナフィラキシー(呼吸困難、全身潮紅、血管浮腫、蕁麻疹等)があらわれたとの報告があるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には本剤の投与を中止し、適切な処置を行うこと。

●その他の使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

薬価基準収載

粉末噴霧式アレルギー性鼻炎治療剤
エリザス[®] 点鼻粉末200 μ g 28噴霧用
Erizas[®] Nasal Powder 200 μ g 28 metered spray
 デキサメタゾンシベシルエステル点鼻粉末
処方箋医薬品(注意一医師等の処方箋により使用すること)



製造販売元(資料請求先)

日本新薬株式会社

〒601-8550 京都市南区吉祥院西ノ庄門口町14